

LION

ライオン誌日本語版・冬号

WINTER 2026



thelion-mag.com



Lions International

表紙シリーズ：日本の世界遺産⑤
姫路城

「奉仕活動リポート」投稿募集中

ライオン誌では奉仕活動の投稿を募集しています。ウェブマガジンではメンバーだけでなく多くの人にライオンズの活動を伝えていきます。クラブの活動の模様を生き生きと伝える原稿と写真をお寄せください。

★原稿作成のヒント

■読み手に伝わる原稿

活動の目的や工夫した点、成果を分かりやすく記して、他クラブの参考になる原稿にしましょう。

- ・活動の内容：いつ、どこで、だれを対象に、何を行ったか
- ・目的：地域のどのようなニーズを捉え、どのような成果を目指して実施したか
- ・過程：企画に当たってどのような点に留意したか。実現までに困難があった場合はそれをどう克服したか
- ・結果：活動によって地域や人々にどのような影響や変化があったか。地域でどのような反応があったか

■投稿要領

- ・リポート原稿（600字以上）と写真データをライオン誌ウェブマガジンの投稿フォームから送信
- ・投稿は出来るだけ活動終了から1カ月以内に

★写真撮影のヒント

■奉仕する姿を写真に

被写体の自然な様子を捉え、誰が、どこで、何をしているかを物語る写真を目指します。

- ・ポーズを取ったり、カメラに目線を向けたりした写真ではなく、活動のありのままの様子を撮影
- ・優しさ、親しみやすさ、前向きを感じさせる表情を捉える
- ・ライオンズのロゴの入ったユニホームや帽子、背景にある旗やのぼりなどを構図に取り入れる
- ・広報用の写真を撮影する際は、事前に参加者に告知し了解を得るなど、肖像権を侵害しないよう留意



誰が何をしているかを写真で物語る



生き生きとした表情を捉える



行動する姿をありのままに伝える



クラブの奉仕活動を撮影した臨場感のある写真と原稿によるリポートをお待ちしています。ウェブマガジン (www.thelion-mag.com) 「会員向け」メニューの「投稿」にある投稿規定をご確認の上、オンラインフォームで写真及び原稿のデータを送信してください

- 4 **奉仕活動リポート**
 4: 335-A地区 2R1Z / 5: 富山県・上市 / 福井県・武生 /
 6: 三重県・久居 / 熊本県・阿蘇 / 7: 愛知県・名古屋みなと /
 8: 広島県・福山久松 / 京都むらさき / 9: 大分県・中津 /
 10: 岩手県・盛岡南 / 埼玉県・春日部中央 / 11: 沖縄県・八重山
-
- 12 **公益財団法人日本ライオンズ**
 第4回全国特別支援学校フットサル大会
-
- 14 **第62回東洋東南アジアライオンズフォーラム**
-
- 18 **A.P.シン国際会長公式訪問**
-
- 22 **共に未来を作る OSEALレオフォーラム**
-
- 24 **GAT日本**
 24: 全日本女性シンポジウム
 25: キャンパスライオンズクラブカンファレンス
-
- 26 **国際会長メッセージ 「変化はここから始まる」**
-
- 27 **ライオンズ・インフォメーション**
 27: 国際理事だより
 28: LCIF情報(Foundation Impact)
 29: LCIF情報
 30: GAT情報
 31: トピックス
 33: 国際理事会決議事項要約
-
- 34 **表紙企画: 日本の世界遺産⑤姫路城**
 兵庫県・姫路中央
-
- 35 **もう一度読みたい「あの記事」**
-
- 36 **獅子吼**
 36: 櫻本健一 / 38: 奈良 衛 / 森 一男
-
- 40 **新会員の広場**
-
- 41 **ライオンズ雑学クイズ/読者プレゼント**
-
- 42 **編集室** 前田磨 / 秋山洋一郎
-
- 43 **日本ライオンズ分布図**

表紙シリーズ: 日本の世界遺産⑤姫路城
 姫路城とラッピングバス(合成写真)





投稿リポート



ライオンズクラブが1年目教員の必須研修に

335-A地区22リジョン1ゾーン（兵庫県尼崎市）

【取材／河村智子】

尼崎市教育委員会が主管する市内小中学校の初任者研修が、9月2日、市立教育総合センターで行われ、必須研修としてライオンズクラブのワークショップが実施された。2ゾーンの5クラブ（尼崎、尼崎南、尼崎琴の浦、尼崎武庫、尼崎そのだ）のスポンサーで初めて実現したもので、尼崎南ライオンズクラブは60周年記念事業としても資金面を支援。地区青少年健全育成委員会が運営をサポートした。

研修では採用1年目の教員77人が、柴咲子、寺西勉、横田秀策各認定講師の指導を受け、実際の教材を使つてプログラムの内容や構成を理解し、さまざまな場面での活用方法を学んだ。

尼崎では10年余り前から尼崎南ライオンズクラブなどが市内の学校や幼稚園でワークショップを実施。昨年度からゾーン合同で支援に取り組んでいる。初任者必須研修に採用されたのは、昨年度行ったワークショップを教育委員会の指導主事が高く評価したのがきっかけだった。



地区青少年健全育成委員会は、学校や教育委員会に効果的にアプローチして継続的に取り組めるよう、ゾーン合同での普及を推進。また、普及活動の経験者が集う「ライオンズクラブ同好会」が地区内のワークショップをサポートするなど、地域の子どもたちにプログラムを届けるために尽力している。



能登被災地支援写仏・ほうろく灸体験会

富山県・上市ライオンズクラブ

【投稿】会長／高木正勝

能登のサッカー少年を招き交流大会

福井県・武生ライオンズクラブ

【投稿】青少年・YCE委員長／谷口義幸



334-D地区（富山県・石川県・福井県／森川直之地区ガバナー）の今年度基本方針の一つに「能登地域での奉仕活動実施」がある。2024年元日に発生した能登地方を震源とする地震は甚大な被害をもたらし、9月にも能登半島地域が豪雨災害に見舞われた。上市ライオンズクラブ（19人）では災害発生直後から自分たちにできる支援をしようと活動してきたが、今年度は地区の方針をきつかけに、被災地に足を運ぶ支援活動を計画。被災した人たちの心に寄り添うケアができると願い、当クラブ会員で上市町にある大岩山日石寺役員の中田眞法さんを講師とし、「写仏・ほうろく灸体験会」を実施することにした。

写仏体験は、大岩山日石寺にある不動明王磨崖仏を書き写し、護摩祈禱後に「御守りの護符」として本人の手元に届けるもの。また「ほうろく灸」は大岩山日石寺で行われる祈祷行事で、頭にほうろく（素焼きの土鍋の一種）を乗せ、その上に置いたもぐさに火をつけて祈祷すると、

頭痛封じや体のバテ防止のご利益を得ることができると言われている。

体験会は輪島市社会福祉協議会の協力で企画・準備を進め、当日は20人の参加者に「写仏・ほうろく灸」を体験していただいた。真剣な面持ちで写仏を書き写す姿に、会員一同心に思うものが込み上げてきた。体験者に感想を聞いてみると「大岩山日石寺を知っていたので体験できました」と喜んでいただいた。

10月25日、武生ライオンズクラブ（用田義弘会長／61人）は、震災で練習場所をなくした能登地域の少年サッカーチームを越前市に招待し、県中央部の丹南地区のチームとの交流を通して笑顔を生み出そうと、「武生ライオンズクラブ杯能登支援サッカー交流大会」を実施した。

越前市サッカー協会の協力の下、能登地域からグランディール能登FC（羽咋市北部）と珠洲エスペランサFC（珠洲市）の2チームを招待し、丹南地区からは6チームが参加することにした。

写仏体験は、大岩山日石寺にある不動明王磨崖仏を書き写し、護摩祈禱後に「御守りの護符」として本人の手元に届けるもの。また「ほうろく灸」は大岩山日石寺で行われる祈祷行事で、頭にほうろく（素焼きの土鍋の一種）を乗せ、その上に置いたもぐさに火をつけて祈祷すると、

頭痛封じや体のバテ防止のご利益を得ることができますと言われている。



大会では試合の他に、越前市の魅力を体験してもらうことでチームの格を超えた交流を図った。交流の時間には、参加者323人にメンバーが作った越前名物「おろしそば」を振る舞った。提供したのは、おろしそばでギネス世界記録を達成した越前市の宗近製麺所のそば。メンバーは慣れないながらもひたすら注文通りにおろしそばを作り続け、1時間で340杯を提供！ おかげで続出の大盛況で、まさに戦場さながらであった。

もう一つの目玉は「ママさんPK大会」。子どもたちはチームの試合以上に熱のこもった応援を母親に送り、フィールドには大歓声が響き、笑顔があふれた。

表彰式の後には、大会の記念として子どもたちがそれぞれの願いを込めた風船を飛ばした。復興への願い、将来の夢、母親への感謝などさまざま思いを乗せて風船は空高く舞い上がり、大会は無事に終了した。

高校生と地域がつながる能登支援活動

三重県・久居ライオンズクラブ

【投稿】334-B地区総務副委員長兼幹事／池田美美

久居ライオンズクラブ（菅尾充孝会長／66人）は、学校法人高田学苑高田高等学校（津市一身田町）と連携し、石川県輪島市において能登半島地震及び豪雨災害からの復興支援活動を実施した。

能登半島地震が発生して以降、私は334複合地区の災害支援の一環として能登（輪島市・珠洲市）を訪れ、継続的に復旧・復興支援活動に関わってきた。それを知った友人の高田高等学校柔道部の上路大将監督か



て能登半島地震が発生して以降、私は334複合地区の災害支援の一環として能登（輪島市・珠洲市）を訪れ、継続的に復旧・復興支援活動に関わってきた。それを知った友人の高田高等学校柔道部の上路大将監督から、能登半島地震が発生して以降、私は334複合地区の災害支援の一環として能登（輪島市・珠洲市）を訪れ、継続的に復旧・復興支援活動に関わってきた。それを知った友人の高田高等学校柔道部の上路大将監督から、

ら、「若い世代にも被災地の現実を直接体験させたい」と部員の参加を打診されたのをきっかけに、青少年健全育成に取り組む久居ライオンズクラブと学校側の思いが重なり、今回の取り組みが実現した。

8月25日、久居ライオンズクラブ会員5人、高田高校の柔道部員5人、引率教員2人の計12人が輪島市を訪問。午前中は、市内の光浦海岸で清掃活動を行った。海岸には昨年9月の豪雨災害により流れ着いた大量の流木が今も残り、参加者は互いに声を掛け合いながら作業に取り組んだ。自然災害の影響が長期に及ぶことを、肌で感じる時間となつた。

午後からは、石川県立輪島高等学校に場所を移し、講話及び生徒同士の交流を行つた。その後のグループワークでは、輪島高校の生徒が中心となり、自らの被災体験や現在の生活について語つた。高田高校の生徒たちは真剣な表情で同じ世代の生の声に耳を傾け、災害を「遠くの出来事」ではなく「自分事」として捉える貴重な機会となつた。

地域の声で復活したスポーツ大会

熊本県・阿蘇ライオンズクラブ

【投稿】会計／西本貴志

10月12日、阿蘇ライオンズクラブ（矢羽田主会長／45人）は、阿蘇西ふれあい市場あかみずにおいて「ASO KOUGEN CUP 2025」を開催した。前日15時からは、メンバー総出で通信機器やゲーム機器の設置、テント・イスの搬入など会場設営を実施。本番に向けた準備を進めた。

この大会は、かつて地域で親しまれていた「高原杯学童ソフトボール大会」を前身とするもので、今回で節目の第50回大会を迎える。以前は多くの小学生チームが参加し、地域の交流と青少年育成の場として定着していたが、少子化によるチーム減少やコロナ禍の影響により、過去7年間は開催を中止せざるを得なかつた。

しかし、「地域の大会を絶やしたくない」という住民の声に後押しされ、阿蘇ライオンズクラブが中心となつて企画を一新。時代の流れに合わせ、ソフトボール大会からeスポーツ大会には阿蘇市及び阿蘇郡の小中



学生35人が出場。プレー中にハイスコアが出るたびに会場から歓声が上がり、子どもから大人まで笑顔に包まれた。午後の決勝戦では、野球ゲームによる白熱した接戦が展開され、優勝したのは阿蘇市の中学生。「このような場所で自分の力を発揮できてうれしい。次回もぜひ参加したい」と力強く語り、会場からは大きな拍手が送られた。

ドラゴンズ元エースの野球教室と奉仕の輪

愛知県・名古屋みなとライオンズクラブ

【取材】ライオン誌日本語版委員／前田磨

11月22日、名古屋市港区の船見緑地公園運動場において、名古屋みなとライオンズクラブ（乙瀬英治会長／29人）が主催する「夢の少年野球教室」が開催され、四つの軟式少年チームに所属する小学生・保護者・関係者など総勢150人以上が参加した。

中日ドラゴンズのエースピッチャーとして活躍した川上憲伸氏から直接指導を受けられる、まさに「夢」のような教室だ。

クラブは船見緑地公園で15年以上にわたり植樹や環境整備を続けていが、その地道な奉仕が一般市民に広く知られることはなかった。この「見えない奉仕」を「見える奉仕」へと転換させるため、公園の主な利用者である少年野球チームの子ども

たちに忘れられない経験を提供すると同時に、クラブの活動を保護者や関係者にも伝えることを目指した。

当日は秋晴れに恵まれ、川上氏による指導は、キャッチボールにおけるボールの持ち方といった基本からバッティングへと展開され、子どもたちは真剣なまなざしで練習に励んだ。



清掃ウォークイング大会で楽しく川辺をきれいに

広島県・福山久松ライオンズクラブ

【投稿】一十一・マーケティング委員長／村上栄二

広島県東部、備後地域を流れる一級河川、芦田川。河口から約10キロ上流の河川敷に水辺公園がある。この公園は、2003年に福山久松ライオンズクラブ（松岡謙会長／45人）がクラブ結成20周年の記念事業として設置したもので、地域の保育園児たちが「ちやぶちやぶらんど」と命名した。以降、当クラブとクラブ支部のグリーンサポート支部が中心となつて花壇などの整備を続けている。

10月11日、福山久松ライオンズクラブは、ちやぶちやぶらんどを拠点とした清掃ウォークイング大会を開催した。大会は、地域住民に集まつていただき、ゴミを拾いながら芦田川の河川敷約7キロを歩くという企画である。ちやぶちやぶらんどの花壇には、ちょうど福山市の市花であるバラが咲き誇り、見頃となっていた。またコース途中には、企画段階から参加してくれた大学生の発案で、四つのチェックポイントを設置してクイズを出題した。ゲーム性を持たせたことで、特に中高生は楽しそうにゴミ拾いをしてくれた。その結果、約50



キロものゴミを収集して無事に終了。なんと、5歳の子も約7キロの道のりを完歩した。

到着翌日、一人の少年に車いすを贈呈した。以前寄贈した車いすがボロボロになってしまったとのことで、当クラブ会員が寄付したものだ。少年は脳性まひで生活に欠かせないと、両親から何度も感謝の言葉を頂いた。

贈呈した。以前寄贈した車いすがボロボロになってしまったとのことで、当クラブ会員が寄付したものだ。少年は脳性まひで生活に欠かせないと、両親から何度も感謝の言葉を頂いた。

ボールペン、Tシャツ、おもちゃなどの物品を寄贈した。この学校のトイレは児童140人に対し男女各一つずつしかなく、屋根は今にも崩れ落ちしきりだった。このトイレの修理には、我々が滞在したホテルのオーナーが不足分の費用を出してくれ、男女各二つずつ作れることになった。思いがけない善意の広がりに感激した。帰国後に届いた写真のトイレは、見違えるほどきれいに仕上がっていた。

スリランカの子らの健やかな成長を願つて

京都むらさきライオンズクラブ

【投稿】社会福祉委員会スリランカ担当／村田悦子

姉妹クラブの例会では、貧困者の白内障手術を支援する「Kyoto Murasaki Help for Vision 基金」に対する10万円と、学校のトイレ修理費用19万4000円を寄付した。

翌朝はマラガラ・ジユニア・スクールを訪問。会員が集めたタオル、リード、鍵盤ハーモニカ、鉛筆、





たんけん中津でふるさとをもつと大好きに

大分県・中津ライオンズクラブ

【取材】ライオン誌日本語版編集長／渕野二三世

11月15、16日、秋晴れの下で「ワンパク！たんけん中津」が開催された。参加したのは中津市内の小学校4～6年生と、中学校の1、2年生の37人。主催は中津市教育委員会、共催は中津ライオンズクラブ（大平好隆会長／88人）で、30年にわたり継続されてきた事業である。

目的は、中津の魅力を学び、体験する「ふるさと学習」を通して、「将来、中津に住み続けたい」「一度離れてもまた帰ってきて暮らしたい」

といつた地域への愛着を深めてもらうこと。教育委員会とライオンズが協力し、地域の将来を担う子どもたちを温かく見守り、育てようと取り組んでいる。

主催者である市教育委員会の古口教育長は、この事業に寄せる期待を次のように語る。

「中津のことを知つて大好きになり『私たちのふるさと中津は、こんなにすてきな所なんだよ！』と、胸を張って語れる大人になつてほしい」中津ライオンズクラブの大平会長も同じ思いで「未来を担う子どもたちが中津の魅力に気付き、将来ふるさとで暮らしたいと思つてもらえるとうれしい」と話していた。



視覚支援学校で触れて自然を感じる体験会

岩手県・盛岡南ライオンズクラブ

【投稿】視・聴力保護保健福祉委員長／佐々木修



盛岡南ライオンズクラブ（菊池慶治会長／61人）は、9月17日に岩手県立盛岡視覚支援学校で「魚とのふれあい体験」を開催した。「視覚障がいを持つ子どもたちに『見る』ことでではなく『触れる』ことで自然を感じてもらいたい」という思いから、視聴力保護保健福祉委員会が企画した奉仕事業で、盛岡視覚支援学校の担当教諭と何度も打ち合わせを重ね、会員の協力による備品の準備や全体

の流れのシミュレーションを行つて当日に備えた。

会場の校庭に大型簡易プールと冷たい地下水、元気なニジマスを用意。体験会が始まると、冷たい水に触れた児童生徒の笑顔や歓声が校庭いっぱいに響いた。冷たい水の中を泳ぐニジマスを手探りで追いかける子どもたち。「わあ、ヌルヌルしてる！」
「逃げないで～！」と声が上がった。

釣り体験では息をひそめて竿を構え、竿先がピクンと動いた感触に「釣れた！」と歓声が響いた。竿を通じて魚の躍動を感じ、釣り上げた魚を手にはほ笑むその表情には、驚きと喜び、そして命を感じ取った静かな感動があふれ、私たちも胸が熱くなつた。

目で見ることが難しくても、冷たい水や魚の感触、歓声と笑顔など全てが子どもたちの「体験の記憶」として刻まれたはずだ。担当教諭からは「（子どもたちが）生きた魚に触れたのは初めて」と感謝の言葉をいたとき、命のぬくもりと喜びを共有した心温まる奉仕活動となつた。

稲刈り体験で学ぶ実りの秋

埼玉県・春日部中央ライオンズクラブ

【投稿】会長／新井康紀

秋晴れに恵まれた9月11日、春日部中央ライオンズクラブ（14人）の主催で、市内の小学校5年生を対象とした稲刈り体験学習を行つた。黄金色に実つた稲穂が一面に広がる田んぼに足を踏み入れると、子どもたちは「すごい！」「本当に米がなつてる！」と歓声を上げ、普段食卓で目にするお米がどのように育つのかを肌で感じていた。

今回の体験学習は、総合学習の一環として「食と農のつながり」を学ぶことを目的としたものだ。地域の農家の方々が先生役となり、鎌の使い方や稲の刈り取り方を丁寧に説明した。最初は「うまく刈れるかな」と不安そうにしていた児童たちも、実際に鎌を手にすると次第に慣れ、友だちと声を掛け合いながらリズム良く稻を刈り進めていった。

稻を束ねる作業は、手のひらにチクリとした感触を感じたり、稻穂からこぼれる穀を拾つたりと、教室で

は決して味わえない体験だ。ある児童は「最初は大変だつたけど、だんだん楽しくなってきた。お米を作るのは本当に大変なんだと分かった」と笑顔で話していた。また別の児童は「毎日食べているごはんのありがたさを感じた。残さず食べたい」と、食に対する意識の変化を語ってくれた。





石垣島・名蔵湾におけるマングローブ植林

沖縄県・八重山ライオンズクラブ

【投稿】GATエリアリーダー／識名安信

八重山ライオンズクラブ（高木正敏会長／53人）は11月17日、石垣島の名蔵湾において国際マンゴーロープ生態系協会、INPEX・JODCO財団、駐日アラブ首長国連邦大使館と協力し、ヒルギの苗500本を植栽した。これらの団体との共同による植栽活動は2023年に始まり、累計1230本に達している。

た。当初は台風により苗が流されるなど活着が難しい状況もあったが、研究者の指導を受けて手法を改善し、活着率を高めることに成功。長年の取り組みは、名蔵湾の自然環境の維持・回復に大きく貢献している。マンゴローブ林は炭素を多く蓄えることから、気候変動対策の観点でも重要性が増している。

A photograph showing a man in a dark polo shirt and cap crouching on a sandy beach, planting small green seedlings. He is wearing blue jeans and black gloves. In the background, another person in a pink jacket is also planting trees, and a third person is walking away. The sky is blue with some clouds, and the ocean is visible in the distance.

八重山ライオンズクラブは、40年にわたる活動の積み重ねと国際機関との連携を力に、名蔵湾の自然を未来へつなぐ環境保全活動を今後も継続していく決意である。





公益財団法人日本ライオンズ

第4回全国特別支援学校 フットサル大会

公益財団法人日本ライオンズ（小野寺眞悟理事長）が主催する第4回全国特別支援学校フットサル大会が11月1日、東京都調布市の京王アリーナTOKYOで開催された。2025年度は全国8地区の地区大会に過去最高の138校が参加。その中から12校が全国大会に進み、優勝を目指して熱戦が展開された。

本大会は通常の学校生活では外部との交流が限られる生徒たちが、フットサルを通じて交流を図ると共に、「自主自立」「リスペクト」の精神を養い人間的な成長を促すことを目的に設立され、22年から開催されている。試合中はベンチからの指導者による指示やコーチングが禁止されているのも、本大会の特徴だ。

出場チームのレベルは年々上がつており、今大会も過去最高と言える技術の高さ、戦術理解度で、予選リーグから僅差の熱戦が展開された。その中で優勝候補筆頭と目されていたのは3連覇を目指す栃木県立支援学校宇都宮青葉高等学園（東関東）だったが、優勝の栄光を手にしたのは初出場の東京都立中央ろう学校（西関東）だった。

逆境をはね返しての優勝だった。予選リーグ初戦で北海道立白樺高等

養護学校（北海道）に逆転負け。鋤田嵐士監督は「すごく高いレベルで勝ち抜けるかどうか不安だった」と振り返るが、選手たちは互いに鼓舞し合って2戦目に勝利。3戦目は勝つた方が予選リーグ1位という兵



中央ろう学校は6月に同好会としてチームを立ち上げ、わずか5カ月余りで全国の頂点に輝いた。快挙の要因は、10番の佐藤一侍主将（2年）と11番の中川遙翔選手（3年）という、大会最高レベルの圧倒的テクニックを持つ2人

庫県立西神戸高等特別支援学校戦を3対1で勝ち抜き、1～3位リーグに駒を進めた。決勝リーグでは愛知県立名古屋聾学校を1対0で破り、引き分けでも優勝という状況で最終戦の富山県立富山高等支援学校戦を迎える。一時は1対3とリードされたが残り2分で追い付き執念で優勝を飾った。



を周囲がしつかりと支えたことだろう。4年連続出場で悲願の2位入賞を果たした名古屋聾学校は、ゴレイロ（フットサルのゴールキーパー）

を周囲がしつかりと支えたことだろう。4年連続出場で悲願の2位入賞を果たした名古屋聾学校は、ゴレイロ（フットサルのゴールキーパー）



カウンター攻撃にも目を見張った。熱く激しい戦いも終わればノーサイド。閉会式後の食事会は笑顔が絶えない雰囲気で各校選手の交流の場となつた。来年度の全国大会は兵庫県姫路市で開催される。選手たちの笑顔や真剣にプレーする姿を再び見られることを心から願つている。
(フォトライター／木村健太郎)

公益財団法人
日本ライオンズ
www.lions-zaidan.or.jp

〒104-0031
東京都中央区京橋1丁目2-4
八重洲ノリオビル5階
03-6262-6108
office@lions-zaidan.or.jp



2位の名古屋聾学校の選手と河合純一スポーツ庁長官、小野寺眞悟財団理事長（左）



The 62nd OSEAL FORUM in SAPPORO

第62回東洋東南アジア ライオンズフォーラム

2025年10月23~26日

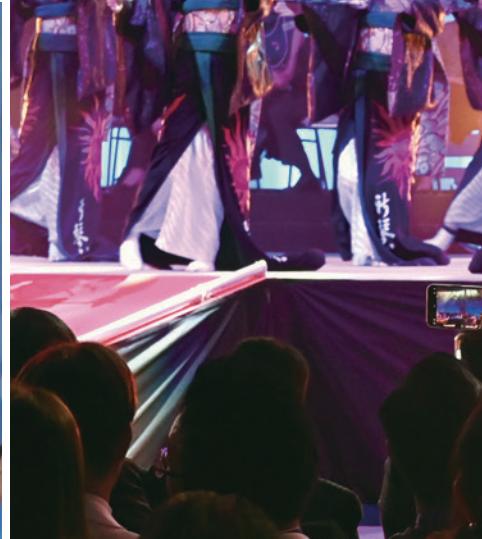
10月23～26日の4日間にわたり、第62回東洋東南アジア・ライオンズ（OSEAL／オセアル）フォーラムが北海道札幌市で開催された。札幌でのフォーラム開催は実に41年ぶりのことだ。26日の閉会式で発表された登録者数は1万471人。日本は6940人、韓国1471人、台湾850人を始めとするオセアル地域各国からライオンズメンバーが集い、共に学び、交流した。

24日、大和ハウスプレミストドーム（札幌ドーム）で行われた開会式には約8000人が入場した。A.P・シン国際会長の入場では、今年9月に結成された東京HAKUHOライオンズクラブの会長でもある元横綱白鵬が先導役としてサプライズ登場。会場を沸かせた。式典は新琴似天舞龍神によるYOSAKOI（よさこい）ソーランと、道内屈指の規模を誇る札幌国際情報高校ブラスバンドによる迫力あるパフォーマンスで華やかに開幕した。

第62回オセアルフォーラム組織委員会の鶴嶋浩二委員長は開会に当たり「参加者の皆様の持つ知識と経験



上：サプライズ登場した元横綱・白鵬とシン国際会長 右：鶴嶋委員長の開会あいさつ
下：会場スクリーンに同時通訳を表示



はこのフォーラムが持つ最大の財産です。お互いの学びを共有することで、私たちの活動の可能性は大きく広がります。（中略）ここでの出会いや学びが、やがて世界中に良い影響を広げることでしょう」と話し、実りあるフォーラムにしようと参加者に呼びかけた。

その後、ホスト国・日本を代表してあいさつした山田實絢名誉委員長（元国際会長）、鈴木直道北海道知事（代読）、秋元克広札幌市長が歓迎の言葉を述べた。続いてスピーチしたシン国際会長は「いきがい」「改善」「わびさび」など日本語のキーワードを交じえつつ、今年度国際会長テーマにあるリーダーシップの重要性や、会員拡大を使命とするミッション1・5の取り組み方について説き、奉仕の担い手を増やすために一人ひとりが行動を起こすよう訴えた。その後、ミッショントリニティ、G E T担当者が表彰を受けた。オセアルの会員が共に学び合う貴重な機会として、会期中は20もの会議やセミナーが組まれた。第1～3回の協議会議長と地区ガバナーの会議、国際会長と地区ガバナーの会議、



見事ギネス世界記録を打ち立てたペットボトルキャップの文字アート



大会登録の会場が置かれた
北海道庁旧本庁舎（赤れんが庁舎）

国際第一副会長と副地区ガバナーの会議など役職者を対象とする会議の他、25日には札幌コンベンションセンターで各種セミナーが行われ、日本本の会員向けのゾーン・チャニアパーソン・セミナーや、ミッション1・5セミナーは座席が足りなくなるほど盛況となった。

札幌フォーラムはサステイナブルな未来に向けて「環境」「循環」「共生」を掲げ、ペットボトルキャップとブルタブを回収し、そのリサイクル収益でワクチンを提供するフォーラム事業が展開された。

札幌コンベンションセンターでは集まったペットボトルキャップの一部、8万1891個を使って地域の学生や参加者が「We Serve」などの文字を描く巨大アート作品を作成。「ボトルキャップで作った最大の文字アート」としてギネス世界記録に認定された。

また、隣接する札幌産業振興センターでは、公益財団法人日本ライオズの支援事業である全国特別支援学校フットサル大会を紹介するエキシビション・マッチも行われ、大きな注目を集めた。

最終日の26日、本部ホテルの京王プラザホテル札幌で開かれた閉会



上：25日、一般社団法人日本ライオンズが主催して行われたジャパン・レセプションでは、松岡勲2026~28年国際理事候補者を激励
下（左右）：閉会式



式。鶴嶋委員長はぎっしりとホールを埋めた参加者に向けた閉会あいさつに、平和への祈りを込めた。

「世界各地で紛争が相次ぐ中、オセアル内でも政治的な緊張が高まっている国や地域があります。しかしライオンズクラブでは、政治あるいは宗教、その他あらゆる違いを超えて奉仕という共通の目的の下で手を取り合い、平和な世界を築いていきましょう」

閉会式では第62回オセアルフォーラム決議委員会の諏訪昇三委員長から、スイスのカール・ロバート・レッドビー元国際理事を国際第3副会長候補者として支持すること、また、日本の松岡勲元協議会議長（335複合地区）と中国のリン・ジーユー元地区ガバナー（380地区）をオセアル地域から選出される国際理事候補者として支持することを表明する決議など、感謝決議を含む18項目が報告された。

最後に、第62回組織委員会の鶴嶋委員長から、第63回のダト・オーライ・チヤオ・シ・ファン委員長への引き継ぎが行われ、閉幕した。

第63回オセアルフォーラムは26年11月12～15日、マレーシア・ペナンで開催される。

A.P. シン国際会長日本公式訪問
2025年10月26～30日

ライオンズの奉仕を もっと拡大させるために



札幌フォーラムに出席するためには、来日したA.P.シン国際会長は、フォーラムが閉会した10月26日から30日にかけて日本公式訪問を行い、札幌、東京、茨城県つくば市を訪れました。

公式訪問の式典はフォーラム終了後の26日午後、京王プラザホテル札幌で開催された。一般社団法人日本ライオンズ（喜多友一理事長）主催の式典には330～337複合地区の会員3



若手会員とのタウンホールミーティング

A.P.シン国際会長と直接対話するタウンホールミーティングには、首都圏を中心に北海道から宮崎まで全国から若手会員54人が参加。シン国際会長は率直な声を聞かせるよう促し、サンギータ・ジャティア元国際理事と共に参加者の切実な悩みや質問に回答した。

「年長の会員に話を聞いてもらえない」という悩みには、サンギータ元国際理事が「同世代の仲間を増やして自分たちが楽しいと感じる奉仕事業を企画する。楽しい活動ならば年長の会員も喜んで加わるはず」と助言した。

「プロトコールについてどう考えているか?」という質問にはシン国際会長が「会合を円滑に進めるためのもので、席順や話す順番が重要なわけではない。私にとってそれは『責任』であり、プロトコールの一番上に名前がある人は何事も率先して行動すべきだと考えている」と答えた。

シン国際会長は2時間半にわたるミーティングの中で、クラブ運営においても奉仕事業においても、自分たちが良いと考える通り自由に活動するよう激励すると共に、「全てにおいて重要なのは最適のバランスを見つけること、そして互いに尊重し合うこと」と說いた。



オントナードであるサンギータ・ジャティア国際理事会アボインティ（元国際理事）を歓迎した。



シン国際会長は講演の中で、ミッショーン1・5が目標とする会員数50万という数字を最初に示したのは村上薰元国際会長（1981・82年度）であること（35ページに関連記事）、また、自身がライオンズとして心に深く刻んできた言葉は、山田實紘元



国際会長（2015・16年度）が国際会長テーマに掲げた「尊厳・調和・人間性」であることを明かした。そして、奉仕のインパクトをより大きいものにするためにミッショーン1・5を打ち出した背景には、日本が輩出した2人のリーダーによるコンセプトがあったと述べた。その上で、会員を増やし、より多くの奉仕を提供するためにリーダーシップを發揮するよう訴えた。

講演後は、札幌創成イーストライオンズクラブの結成式が執り行われた。会長から新会員に向けて、奉仕活動



28日は午前中に中央区八重洲にある一般社団法人日本ライオンズの事務所を訪問し、喜多理事長から社団の組織や役割について説明を受けた。午後には日本青年会議所の外口真大会頭（2025年度）との対談、330複合地区アクティビティ報告会に出席した。帝国ホテルで行われた日本青年会議所会頭との対談では、シン国際会長からライオンズクラブの活動について説明。地域奉仕やリーダーシップのスキルなどJCで培った経験を卒業後はぜひライオンズクラブで生かしてほしいと希望を伝え

た。

翌29日は、東京新宿ライオンズクラブが募金活動のために新宿駅東口広場に設置しているライオン像「MILION（みらいおん）」やライオンズが支援する都内こども食堂を視察。その後、茨城県つくば市に移動してインド系の会員で結成された筑波グローバルガンズライオンズクラブの結成式に出席した。

休む間を惜しむように会合や視察に奔走したシン国際会長。日本の会員の声に真摯に耳を傾け続けた4日間だった。



でも例会でも自分たちにとつて最適だと思う方法で取り組むようにと、激励の言葉が贈られた。

シン国際会長とサンギータ元国際理事は27日午前中に札幌から東京へ移動し、午後には「若手会員とのタウンホールミーティング」に臨んだ。会場には全国から若手会員54人が参集。シン国際会長は若手会員から投げかけられた質問や悩みに対し、自らの体験を語ったり、分かりやすい例えを挙げて説明したりしながらアドバイスを送り、規則の範囲内で、自分たちのクラブのことは自分たちで自由に決め、楽しくクラブ活動に取り組むよう促した。

28日は午前中に中央区八重洲にある一般社団法人日本ライオンズの事務所を訪問し、喜多理事長から社団の組織や役割について説明を受けた。午後には日本青年会議所の外口真大会頭（2025年度）との対談、330複合地区アクティビティ報告会に出席した。帝国ホテルで行われた日本青年会議所会頭との対談では、シン国際会長からライオンズクラブの活動について説明。地域奉仕やリーダーシップのスキルなどJCで培った経験を卒業後はぜひライオンズクラブで生かしてほしいと希望を伝え

対談



ライオンズクラブ国際協会
国際会長 A.P. シン



日本青年会議所
第74代会頭 外口真大

A.P.シン国際会長と外口真大日本青年会議所(JC)会頭の対談は、明るく豊かな社会を目指して社会貢献事業を展開する日本JCにライオンズクラブの活動を知ってもらおうと、ライオンズ側の提案で実現した。ライオンズからは仁科良三、田名部智之両国際理事、鶴嶋浩二LCIF理事、鈴木誓男GATエリアーダーら、日本JCからは主に渉外・国際関係の役員が同席。自らもJC卒業生である田名部国際理事をモダレーターとして進められた。

対談ではまずシン国際会長から、ライオンズクラブは世界最大の奉仕クラブ組織であること、各クラブは地域のニーズに応じた活動を

自ら決定し実施していること、会員の自己啓発や指導力育成にも力を注いでいること、また現役世代の会員も活動しやすいようIT活用などによる柔軟なクラブ運営が可能であることを説明した。そして、JCには優れた指導力育成プログラムがあり、多くの国々のライオンズクラブにおいてJC卒業生が指導的な役割を担っていると述べ、「卒業後はJCでの経験を生かしてライオンズクラブで奉仕活動を継続してほしい」との期待を表明した。

外口会頭はJCに40歳までという制限があるのは、それまでにリーダーシップや社会課題解決につ

いて学んで卒業後に社会に還元していくためであり、その方法には自ら組織を立ち上げること、既存の奉仕団体に加わることなど多くの選択肢があると説明。そして、特定の団体の推奨はできないしつつ「ライオンズクラブは社会貢献という点でJCと大きな共通点がある」と述べた。

シン国際会長は「情報を交換し合い、互いの奉仕活動に参加することから始めてはどうか」と提案。外口会頭は「同じ目的を持って共に運動を展開することが最初のステップになる」と応じ、共通の目的である奉仕事業で連携を図っていくことで同意した。





共に未来を創る OSEALレオフォーラム

東洋東南アジア地域のレオクラブ会員が集うフォーラム。2017年の第1回と第2回がマレーシアで開催され、その後力ボジア、フィリピン、香港と続き、第6回を迎えて初めて、日本がその舞台となつた。

第6回OSEALレオフォーラム2025大阪は、大阪府泉佐野市の関西エアポートワシントンホテルを会場に11月7～9日の3日間にわたり開催された。登録者は約400人と、当初の予想を大きく上回つた。海外からは香港・マカオ、マレーシア、タイ、フィリピン、アメリカ、インドの約100人、日本各地からも100人を超えるレオクラブ会員が集結。ライオンズメンバー約200人も駆け付け、国境を越えた友情と学びに満ちたフォーラムとなつた。

今回のテーマは「Together, we change tomorrow」。共に学び、共に未来を創るレオスピリットで、会場は活気にあふれた。

初日は、乾靖英レオ実行委員長の力強い開会宣言からスタート。アイ

スブレイクで緊張がほぐれた後、国際本部のスペシャリスト、レオライオン理事会リエゾン、OSEALのレオ諮問パネリスト、国連レオ代表が登壇し、レオプログラムの概要や



レオの役割、最新動向が共有された。続くワークショップでは、「レオとライオンズの協働」「チームワーク」「リーダーシップスキル」などの研修に取り組んだ。

初日夜の「フェローシップナイト」は各国の旗が入場する莊厳なフラッグセレモニーで幕を開け、居合道の演武が来場者を魅了した。千代松大耕泉佐野市長、仁科良三国際理事、喜多友一一般社団法人日本ライオンズ理事長の祝辞、城阪勝喜元国際理事の乾杯に続き、国際色豊かな交流が繽り広げられた。

2日目は「仲間を増やす工夫」と題した会員のリクルートについての合戦がクリスマスギフト作り、日本けん玉に着想を得た紙筒のおもちゃ「筒けん」の制作を行った。各國混合チームで協力しながらカラフルな筒けんを仕上げ、完成後には自然とラリー大会が始まり、会場に大きな歓声が響いた。

この日夜の「カルチャーナイト」はまず高校生オーケストラによる演奏で幕を開け、その後、田名部智之国際理事、濱野雅司元国際理事、笹部美千代335-B地区ガバナーの3人が順に登壇し、若きリーダーたちへ

セッション、ワークショップから始まり、午後の奉仕活動では、困窮家庭の子どもたちに贈るお菓子を詰め合わせたクリスマスギフト作り、日本けん玉に着想を得た紙筒のおもちゃ「筒けん」の制作を行った。各國混合チームで協力しながらカラフルな筒けんを仕上げ、完成後には自然とラリー大会が始まり、会場に大きな歓声が響いた。

この日夜の「カルチャーナイト」はまず高校生オーケストラによる演奏で幕を開け、その後、田名部智之国際理事、濱野雅司元国際理事、笹部美千代335-B地区ガバナーの3人が順に登壇し、若きリーダーたちへ

温かい祝福の言葉を送った。あいさつの後はサックストリオが軽快な音色で会場を包み、文化交流の夜を華やかに彩った。続くアワード授与式では、執行部役員、レオたちの活躍に対するアワード、またライオンズ役員に対する国際会長賞が授与され、祝福の拍手に包まれた。最後に、来年度開催地であるマレーシア・ペナンのプロモーションが行われ、次回フォーラムへの期待が大きく高まつた。

3日目は岸和田エリアを巡るカルチャーツアーが実施され、参加者は日本の歴史と文化に触れた。岸和田城では城郭と庭園を散策して伝統建

築の美しさを体感。だんじり会館では、迫力あるだんじり祭の映像や実物展示に触れ、地域文化への理解を深めた。更に和菓子職人の指導による和菓子づくり体験が行われ、参加者同士が笑顔で交流しながら日本文化を味わう貴重な時間となつた。

200人の若きリーダーたちが国境を越えて議論し、未来へ踏み出す大きな力を育んだ3日間であつた。日本のおもてなしに対して海外の参加者から称賛が次々と寄せられ、日本で初開催となつたOSEALレオフォーラムは成功裏に幕を閉じた。

(取材・ライオン誌日本語版委員／秋山洋一郎)



女性活躍と奉仕を考える 全日本女性シンポジウム

GAT エリアリーダー
小川晶子（東京ウィル）

ミッショングループ1・5の会員拡大の一環として、11月19日に東京・永田町の衆議院会館で全日本女性シンポジウムを開催しました。

当日はNPO法人6団体、財団法人1団体からの参加を含むオンライン



の方の理解と協力を得て組織を大きくしていくことです。

長きにわたり女性会員の拡大推進に一方ならぬ尽力をいただいている山田實絵元国際会長の基調講演では、ライオンズクラブの活動を通じた世界的な女性の権利向上

上の重要性が強調され、女性の能力を引き出し、力を与え、権限を与え、主体的に行動できるよう支援することで会員減少

が続く組織の活性化を図り、新会員を獲得することで奉仕活動を拡大していくよう指導してくださいました。これを受けて、同じく女性比率が低い政治の世界から4人の衆議院議員を招いてのワークセッションに移りました。

テーマは「ガラスの天井を打ち破る」。モディレーターの岡本三成議員（公

明党／東京綾瀬ライオンズクラブ）は国際ビジネスの豊富な経験からくる現場感覚と理論を兼ね備えた政策通

の健康・社会的に良好な生活・身体の健康、持続可能な子ども食堂、思いやりプロジェクト（特別支援学校フットサル大会と寺子屋事業・認知症サポート育成・思いやりナップキン）の三つのテーマで分科会を行いました。最後は、高齢社会に対応する「ダレデモダンス」の講習で、



子育てなど生活に密着した体験から多様性への理解を説き、人間味あふれる言葉で一貫したインクルーシブの価値観を示されました。官僚出身で政策立案に長けた玉木雄一郎議員（国民民主党／香川県・三木さぬきライオンズクラブ）はライオンズ会員の寄付に触れ、免税であつて良い分野という指摘がありました。3人目のパネリスト、新人でありながら若手・女性議員の視点をもつと政治に反映させたいと党首選挙に立った吉田はるみ議員（立憲民主党）は、男性中心になりがちな組織に挑み政治の構造を変えたいと表明されました。GAT、WYPT、ウイメンズスペシャリストの女性リーダー5人とのやりとりではライオンズの奉仕活動について示唆に富んだお話をいただきました。

午後からは、ウェルビーリング（心の健康・社会的に良好な生活・身体の健康）、持続可能な子ども食堂、思いやりプロジェクト（特別支援学

校フットサル大会と寺子屋事業・認知症サポート育成・思いやりナップキン）の三つのテーマで分科会を行いました。最後は、高齢社会に対応する「ダレデモダンス」の講習で、

シンポジウムの目的はライオンズの奉仕活動について論じ合い、多く

（自民党／岐阜西ライオンズクラブ）はオンライン61人をお迎えし、予定を34人上回る総勢334人が集い、会場の模様は、今期入会した全国の女性会員がZoomで視聴しました。

シンポジウムの目的はライオンズの奉仕活動について論じ合い、多く

（自民党／岐阜西ライオンズクラブ）は開発者であるTRFのSAMさんの

GAT日本 キャンパスライオンズクラブ カンファレンス報告

ライオンズ公認講師

山田実貴人（岐阜県・美濃加茂）



全国でキャンパスライオンズクラブの設立が進む中、2025年は既に11クラブが認証されました。しながら、学生会員が一堂に会し、活動を共有し親睦を深める機会が今までありませんでした。

シングライオン、今後結成を考える会員が現状を把握し、課題を共有し、課題解決と今後の結成について意見を共有することでした。

カンファレンスは名古屋市のウィンク愛知を会場とする集合型研修とし、Zoomやビデオメッセージを併用しつつ、11月22、23日の2日間で開催されました。一般社団法人日本ライオンズのご支援もいただきました。学生会員以外の会員からは参加費5000円を徴収。それを学生への旅費の補助として使用し、キャンパスクラブ支部の学生会員30人と、一般会員42人の計72人が参加し、Zoomでは10人が参加しました。

初日には11クラブから報告がありました。現地参加での報告が4クラブ（岐阜医療科学大学、金沢城北支部、島根県・周南公立大学キャンパス、中部国際医療学院）、Zoomでの報告が4クラブ（八戸工大ばんらぼ、土浦SORA・SW

EET支部、熊本火の国キャンパス支部、宮崎国際大学）、ビデオでの報告が2クラブ（島根県立大学あかえんぴつくんキャンパス）、同DSA（島根県・浜田橙蘭キャンパス）でした。

各クラブの活動は献血・骨髓バンク、防災・非常時の準備、糖尿病予防、レモネードスタンド、薬物乱用防止、子ども食堂支援、英語弁論大会、清掃活動、フェスティバル開催によるLCIF寄付など多岐にわたり、学生のアイデア、若さ、活力にあふれた報告を得ました。

また、田名部智之国際理事、マーザ佐子オセアル調整事務局長によるライオンズクラブについてのセミナーが4クラブ（岐阜医療科学大学、金沢城北支部、島根県・周南公立大学キャンパス、中部国際医療学院）、Zoomでの報告が4クラブ（八戸工大ばんらぼ、土浦SORA・SW

ナ）、山崎もとみ日本ライオンズ副理事長による「キャンパスライオンズクラブ結成の経緯について」の講演も行われました。

2日目には学生会員と一般会員に分かれて、ライオンズ公認講師がそれぞれワークショップを開催しました。学生会員向けでは奉仕活動、活動の工夫・リーダーシップ、継続性、会員を増やす工夫についてグループ討論が行われました。活発な討論もあり、奉仕活動に対する意欲が増し、自立したクラブに向けての内容が示唆されました。一般会員向けでは、キャンパスクラブ設立時のアプローチの仕方、会員の継続性の問題点と維持する工夫、会費の在り方等の問題点や工夫についての討論が行われました。両ワークショップからの報告を受け、今後につながる会であつたと思います。

アンケート結果でも良好な回答が得られましたが、今後の問題点としては開催時期、遠方からの移動手段、補助の問題が挙げられました。キャンパスライオンズクラブは設立だけでなく、学生会員自身が自立した活動と運営をするために継続した支援が必要であることが共有されました。



今回、初めてキャンパスライオンズクラブカンファレンス（以後カンファレンス）を開催した目的は、①学生会員がライオンズクラブ国際協会の組織と概要を学ぶ。②学生会員同士が活動内容を共有し、懇親を深めることです。

国際会長メッセージ



ライオンズクラブ国際協会 会長
A.P.シン



We Serve.

変化はここから始まる

ライオンズの皆さんへ

私たちはライオンズとして、変化は待っているものではなく、自ら起こすものであると知っています。そして日々、無数の形でそれを生み出しています。おなかをすかせた人に食事を提供することや、環境を保護することから、最も必要としている人々に希望を与え、支援することに至るまで、ライオンズは変化を起こしています。私たちは世界をより良い場所にすると口にするだけでなく、一つひとつの奉仕によってそれを実行に移しているのです。

変化を生むためには優れたリーダーシップと感動的な奉仕が必要であり、私たちは共にこれらの特質を体現しています。ライオンズは思いやりによって導き、目的を持って行動し、自らも加わって万人のために明るい未来を築こうとする他者の意欲を喚起します。

ミッション 1.5を通して、世界各地のライオンズはこの仕事を分かち合う新会員を迎え入れています。新会員の一人ひとりが変化をもたらす私たちの能力を増幅させ、新鮮なアイデア、活力、視点をもたらしてくれます。私たちが拡大すれば、永続的なインパクトを生み出すことで各地域社会と世界を変える私たちの能力も高まります。

今年度、私たちは奉仕週間の取り組みを通して、心の健康とケア、食料支援、環境保全に真の変化を起こしています。これらの分野に力を注ぐ 3回の奉仕週間は、私たちが結束した時の強さを反映し、ライオンズが達成できることの力を世界に示します。

引き続き勇気を持って導き、心を込めて奉仕することで、本当に重要な変化を生み出していきましょう。

共に奉仕を

APSingh

未来を切り開く会員拡大の取り組み



◎国際理事
田名部智之（八戸）

国

際理事に就任して5カ月ほど経ちました。この間、L C I F理事長公式訪問（名古屋）、国際理事会（インド・コルカタ）、東洋東南アジア・ライオンズ（O S E A L）フォーラム（札幌）、国際会長公式訪問、O S E A Lレオフォーラム（大阪）、全日本女性シンポジウム（東京）、キャンパスライオンズクラブカンファレンス（名古屋）と、大きな集まりが目白押しでした。

各種会議では、国際会長を始めとする執行役員、理事、アボインティ、リエゾン、協会職員が、单一クラブ・会員がより良く奉仕できるよう、そして国際協会がより発展するよう、真剣に議論しています。言葉や文化、年齢、生い立ちが違う中で合意点を見つけて物事を決めていくのは大変な作業です。幸い、協議会議長や一般社団法人日本ライオンズの理事長を務める中でO S E A Lフォーラム

に就任して5カ月ほど経ちました。この間、L C I F理事長公式訪問（名古屋）、国際理事会（インド・コルカタ）、東洋東南アジア・ライオンズ（O S E A L）フォーラム（札幌）、国際会長公式訪問、O S E A Lレオ

フォーラム（大阪）、全日本女性シンポジウム（東京）、キャンパスライオンズクラブカンファレンス（名古屋）と、大きな集まりが目白押しでした。

一般的に、日本人は言葉の壁や控えめな国民性から国際的な会議では意見を言わず、外国人と交流しない傾向があります。それを踏まえ、先輩の元国際理事から「しっかりと発言・行動するように」とアドバイスを受け、意識して会議に参加しています。そんなこともあり、仁科良三国際理事と共に会議でも会議外でも積極的に発言や交流をしており、理事会の中で日本の理事の認知度は高いと思われます。

理事会の委員会においては、A. P・シン国際会長の指名により会員増強委員会に配属されました。協会が最も力を入れている「ミッショントップ」、「レオ・キャンパス・女性会員拡大」を担当する委員会です。

会員増に関してネガティブな要素しか見つからない昨今ではあります。が、私は日本の会員拡大は必ず出来ると思っています。それには根拠があり、既に成果も出始めています。日本のライオンズには独自の価値観

での国際会議の経験があつたため、面食らわずに対応出来ましたが、国

内のライオンズの常識で頭が凝り固まっていたならば国際会議では通用しないだろうと感じました。

一般に、日本人は言葉の壁や控えめな国民性から国際的な会議では意見を言わず、外国人と交流しない傾向があります。それを踏まえ、先輩の元国際理事から「しっかりと発言・行動するように」とアドバイスを受け、意識して会議に参加しています。

そんなこともあり、仁科良三国際理事と共に会議でも会議外でも積極的に発言や交流をしており、理事会の中で日本の理事の認知度は高いと思われます。

理事会の委員会においては、A. P・シン国際会長の指名により会員増強委員会に配属されました。協会が最も力を入れている「ミッショントップ」、「レオ・キャンパス・女性会員拡大」を担当する委員会です。

数ある委員会の中でも、毎月開催される忙しい委員会です。

同委員会の中では、会員の減り続ける日本、その中でも会員減少が著しい東北出身の理事として、大変難しい立場にあります。それは、国際理事は会員拡大の手本にならなければならず、出身の国と複合地区の会員動静や取り組みが注目されるからです。委員会において会員増強補助金の承認や新たな方針作りの役割を果たすだけでなく、「ミッショントップ」を成功させるためにリーダーシップを發揮し、「人にモノを言う前にあなたはできているのか?」と問われることのないようにしたいと

思います。

「強い者が生き残るのではなく変化に対応したものが生き残る」と言われる通り、どのような要因や環境であっても変化に適応できた者のみが成長・発展・生き残るのだと私も思います。今年度、日本G A Tや地区ガバナー、G M T・G E Tメンバーの皆さんとの成功事例の共有や具体的な取り組みを通して全国のライオン

リーダーの意識に変化が生じ、ここ数年、苦戦してきたクラブ結成や会員増にめどがついてきました。持続可能で多様な奉仕の受け皿（クラブ）を増やし、奉仕の受益者のために新しいライオンズクラブの未来を共に切り開いてまいりましょう。

レオによる糖尿病スクリーニング

●ネパール

不 パールのビラトナガルでは、未診断の糖尿病の有病率が増加の一途をたどっている。多くの人は自身が糖尿病であることに気付かないまま、診断と治療の遅れによって、心血管疾患、腎不全、その他の合併症といった長期的な健康リスクが高まっている。

325-C地区のレオたちは、この状況に奉仕のニーズを見いだし、行動を起こした。多くの人が早期治療を受けられないでいる現状を変えようと、レオたちは糖尿病集団スクリーニング検査の奉仕プロジェクトを立ち上げた。これは、広範囲にわたる糖尿病の認知度向上、早期発見、予防促進を目的とした健康キャンペーンだ。地元のライオンズクラブとLCIFのレオ奉仕交付金5,000ドルの支援を受けたこの取り組みは、地区で最も影響力のある保健プロジェ

クトの一つになつた。

このプロジェクトは6日間で地区内の19カ所を訪れ、地域社会に無料の糖尿病スクリーニング検査と健康教育を提供した。LCIFの交付金は、血糖値の測定器30台と測定キット2万個の購入に充てられた。キャンペーン終了後、血糖値測定器は提携病院に寄贈され、地域社会が引き続き恩恵を受けられるようにした。



と健康的な生活について学んだ家族や介護者を含め、5万人以上に間接的な恩恵をもたらした。

「スクリーニング検査を受けるまで、血糖値が高いことに気付きませんでした。レオとライオズのおかげで、今ではより良い健康管理を行うことができます」と、ビラトナガルで検査を受けたスラジ・プラサド・シャーさんは話す。

多くの人にとって、このプロジェクトは単なるスクリーニング検査以上のものとなつた。それは、警鐘である。

「このプロジェクトを通して糖尿病について学び、早期発見の重要性を実感しました。地域社会にとって大きな恵みです」と、ウルラバリのサンティラム・シグデルさんは語っている。

325-C地区のレオたちは、協力、思いやり、そして献身を通して、LCIFの支援によつてレオにも地域社会に大きな影響を与えることがで

きると証明した。

(文／シェルビー・ワシントン)

レオたちはまた、各会場で栄養や運動、定期的な健康診断の重要性に関する教材を提供。糖尿病またはそのリスクがあると診断された人は、フォローアップケアのために地元の医療機関を紹介した。



インスタグラム
もフォロー！



今すぐ友だち追加！

LCIF 日本公式 LINE に友だち追加すると…

- 緊急のお知らせをオンタイムで
- 交付金情報をいち早くキャッチ
- 寄付ページまでワンタップ
- LCIF.jp ヘワンタップ

LCIF 日本公式インスタグラムをフォローすると…

- 動画を含む協会サイトや SNS の発信情報を日本語でチェック（一部抜粋）
- LCIF 日本からの情報もキャッチ
- 緊急のお知らせをオンタイムで などなど…

L C I F はじめました
330複合地区LCIFコーディネーター
LCIF日本マーケティング委員長
櫻井貴裕
(神奈川県・藤沢)

LCIFのLINEをはじめました！

最新情報を皆様にいち早く伝えるツールとして、これから内容の充実を図りながら活用してまいります。国内外からの災害支援はもちろんのこと、LCIFの各種イベントや交付金を通じた奉仕プロジェクトの紹介などLCIFをもっと気軽に知つていただける情報発信を目指します。上記QRコードから友だち登録お願いします！

また現在、第3回LCIF写真コンテストを開催しています。第1回目から「文章より一枚の写真」をテーマに、ライオンズの奉仕ストーリーから生まれた写真の応募を呼びかけています。第2回コンテストの入賞作品をご紹介します。どの写真からも、ライオンズの思いやりが伝わってくると皆様も感じませんか？新たにLINEを使って簡単に応募していくことができますようになりました。

皆様からの写真をお待ちしています！



第2回LCIF写真コンテスト 上：優秀賞「一緒にゲーム 障がい児・者福祉施設でのお祭り」羽立石直子（神奈川県・藤沢LC）中：最優秀賞「レオの能登被災地支援」羽平野寛明（千葉県・富津LC）下：奨励賞「ライオンズクラブの森 植林活動」羽梶原義一（大分県・日田LC）



LCIF.jp を
チェック！

写真で伝えよう LCIF のストーリー 第3回 LCIF 写真コンテスト開催中

LINE からも応募できます！

「文章より 1 枚の写真」

LCIF の交付金事業やファンドレイジング活動などで、あなたが撮影した奉仕のストーリーが伝わる渾身の 1 枚を。

LCIFでは、世界中のライオンズのストーリーを集め、それを広めることで、次の道的な支援へつなぐさまざまな広報活動に取り組んでいます。毎年たくさんの寄付と多くの交付金事業で貢献する日本のライオンズ会員の皆様にも、人々の心を動かす写真を共有していただく機会として写真コンテストをスタートし今年で第3回目となりました。

参加者が一列に並んで撮ったような記念写真ではなく、ライオンが活動的に受益者の皆様と触れ合っている状況を切り取ったものが理想です。ライオンズのロゴが入っていると、更に説得力が増します。ぜひ魅力的な写真撮影にチャレンジしてみてください！

写真の撮り方を簡単にまとめた資料も配布しています。「写真でLCIFの活動を残し、広める」も参照してください。

コンテスト募集要項、写真の撮り方資料共にLCIF.jp から入手できます。（締切：2026年6月30日）

LCIP公認講師・FDI修了生 リフレッシュセミナー

2
025年12月18日、東京都

内でライオンズ公認講師
(LCIP) 及び講師育成

研究会(FDI)修了生を対象とし
たりフレッシュセミナーを開催しま
した。昨年度に続き2回目となる今
回のセミナーには、全国各地から22
人の参加者が集まり、ライオンズ・
インターナショナルの優先事項を確
認すると共に、研修カリキュラム構
築のためのフレームワーク、ADD
IE(アディー)モデル(※)を活
用した研修計画について学びまし
た。模擬セッションではファシリ
テーターとしての役割と、スキルや
テクニックの再確認を行いました。
「学び、模範となり、成長する」をテー
マに、リーダーとしての技能を磨く
ため、トレーナーとして他の人を指
導し模範となるため、あるいは未来

のリーダーを育て成長するため、ラ
イオンズ・インターナショナルでは
指導力育成研究会を通じて、優れた
リーダーになるために必要なスキル
を教え、また次世代にそのスキルを
引き継ぐために取り組んできまし

た。ライオンズクラブは各地でさまざま
な研修会やセミナーを開催して
いますが、LCIP公認講師やFD
I修了生には、地域で目的に応じた
質の高い研修を組み立て、参加者が
研修で得た知識やスキルを使い、目
的達成のための行動を起こせるよう
支援することが期待されています。

今回のリフレッシュセミナーで

は、研修を企画する際に実践すべき
ADDIEモデルを確認して、女性
会員拡大と若手会員拡大の二つの
テーマに分かれ、テーマごとに研修
指導計画書のドラフトを作成。Lion
Portal(ライオンポータル)の活用
など基礎知識の再確認をした上で、
研修企画会議を想定した模擬セッ
ションを全員が行い、お互いの「ファ
シリテーター」としての役割やスキ
ルを評価し合うことで講師としての
自己点検を行いました。



各地で開催されるセミナーや研修
会が効果的な学びと発見の機会にな
るために、今後は、本セミナーの参
加者を中心に、講師が語るだけのプ
レゼン形式だけではない、ADDI
Eモデルに基づいた参加型で目的と
効果が明確な研修が企画、実施され
ることを期待しています。



*ADDIEモデル：Analyze(分析)・Design(設計)・Develop(開発)・Implement(実施)・Evaluate(評価)
の頭文字を取ったもの。改善手法であるPDCAサイクルを教育に取り入れた手法で、教育や訓練の設計と実施を効果的に行うことができる

トピックス

オセアル地域推薦の国際役員候補者



松岡国際理事候補者



レッドビー国際第3副会長候補者

第62回オセアルフォーラム（札幌市）において、26年7月に香港で開かれる第108回国際大会で行われる選挙の立候補者に対する支持表明が決議された。2026・27年度国際第3副会長候補者として支持が表明されたのは、スイスのカール・ロバート・レッドビー元国際理事、オセアル地域から選出される26～28年国際理事候補者として支持が表明されたのは、日本の松岡勲元協議会議

香港国際大会主要行事の日程変更

1月14日、2026年香港国際大会の主要行事の大幅な日程変更が発表された。第108回国際大会は当初予定されていたアメリカ・ジョージア州アトランタでの開催がFIFAワールドカップを理由に中止となり、香港が代替の開催地となつた。この変更を進めつつ大会全体の構成を維持するために、日程調整が必要になつたもの。

2026年7月3～7日の開催日

に変更はないが、3回の総会とインタークシヨナル・パレードを含む主要行事の実施日が次の通り変更となる。

- ・選挙…7月4日（土）～6日（月）
- ・開会式…7月4日（土）

長（335複合地区／京都南ライオンズクラブ）と中国のリン・ジーユー元地区ガバナー（330地区／深圳ライオンズクラブ）の2人。

京都南ライオンズクラブ入会。20年度335'C地区ガバナー、335複合地区ガバナー協議会議長を務めた後、GAT

日本全域副リーダーなどの要職を歴任している。

2025・26年度 全日本第二副地区ガバナー研修

12月1・2日、愛知県名古屋市のウインクあいちで2025・26年度全日本第二副地区ガバナー研修が開催された。昨年度から始まつたこの研修は、2年後のガバナー就任を見据え、第二副地区ガバナーの役割と責務、必要なリソースや情報・知識の身に着け方や、ミッショングループ1・5と会員拡大について地区ガバナーチームの一員として積極的にかかわり行動するための備え、適切なチーム作りなどについて確認することを目的としている。

研修は25年度第二副地区ガバナーリモート研修の設楽幸子グループリーダー（331複合地区元協議会議長）を始めとするGAT日本が担当し、1日目は組織やチーム作り、2日目はライオンポータルや補助金プログラムな

- ・第2総会…7月5日（日）
- ・閉会式…7月6日（月）
- ・MJF昼食会…7月6日（月）
- ・インターナショナル・パレード…
- ・詳細な日程は確定し
- ・次第、公式ウェブサイトで発表される。



第二副地区ガバナー研修は11月からオンラインでの研修が始まっています。各地区の第二副地区ガバナーは今後も地区ガバナーの重責を担うための準備を進め、次年度の第一副地区ガバナー研修を経て就任の日を迎える。

サイクロン被害に LCIF大災害援助金

2025年11月末、南アジア、東南アジア周辺で相次いでサイクロンが発生し、スリランカやタイ南部、インドネシア・スマトラ島、マレーシア北部は洪水や土砂災害により甚大な被害を受けた。一連の豪雨による犠牲者はスリランカ、タイ、インドネシアを中心に2000人を超えた。

LCIFは即座に大災害復興支援交付金（MCA-T）50万ドル（スリランカ30万ドル、タイ10万ドル、インドネシア10万ドル）の交付を決定。被害は広範囲にわたり、現地ライオンズを中心とした支援のニーズは今後も高まる予想されている。

社会の復興を支援するため、日本では「東南アジア豪雨被災地支援」の指定寄付として会員一人当たり1000円以上の寄付が呼びかけられている。

地区の課題と向き合う LMSEサミット

332-A地区（青森県／藤田鉄哉地区ガバナー）は11月15日、青森県観光物産会館アスパム会議室において、地区内クラブ3役と地区役員を対象とする公開討論会「LMSEサミットVol.1」を開催した。今年度の地区目標の達成に向けて地区内メンバー一丸となつて邁進するよう、それぞれの方向性や疑問点・問題点を明確化し、かつ連携と情報共有を

図り、解決への道筋や事例を示すことが、このサミットの目的である。
菅野文吉332複合地区GETコーディネーターの講演では、会員増強・エクステンションは急務であるとし、スペシャルティクラブ、クラブ支部、バーチャルクラブの結成を促した。続く事例報告では、地域経済の活性化、観光・文化の発展を目指すスペシャルティクラブ結成の経緯が発表された。

訂正とお詫び

本誌秋号23ページに掲載した合併クラブの名称は、正しくは「大阪すみよし」でした。また、24ページに掲載した過去の香港国際大会の開催年に誤りがあり、正しくは1992年と2005年でした。

訂正しお詫び申し上げます。

ブのリーダーシップ」「活性化クラブ」のテーマで、A・P・シン国際会長が推進する奉仕週間や、LCIF交付金を活用した事業の拡大などについて有意義な情報提供が行われた。（取材：ライオン誌日本語版委員／岡田殉）

新結成／解散／名称変更クラブ

■新結成クラブ

広島リユニオンキャンパス（中村優希会長／22人）▼2025年10月8日認証▼ponsサー／広島あさひ
岐阜県・中部国際医療学院（岡田華歩会長／21人）▼10月15日認証▼ponsサー／美濃加茂
山口県・下関市立大学キャンパス（安藤一慶会長／20人）▼10月23日認証▼ponsサー／下関
富山県・高岡雅こども食堂（平田洋介会長／20人）▼10月23日認証▼ponsサー／高岡志貴野
千葉県・うらやすPet&People（館里枝会長／20人）▼11月7日認証▼ponsサー／浦安

愛知県・名古屋ゴールド（高村麻美会長／20人）▼11月11日認証▼ponsサー／名古屋中村
富山県・新川アラート（田中健太郎会長／21人）▼11月18日認証▼ponsサー／魚津
島根県・坪内学園松江キャンパス（吉岡亜美会長／20人）▼11月19日認証▼ponsサー／松江

島根県・坪内学園松江INキャンパス（ラサイリ・スナル・スニタ会長／20人）▼11月19日認証▼ponsサー／松江
山口大学キャンパス（翁林大輔会長／27人）▼12月10日認証▼ponsサー／山口中央

福井AIコミュニティ（青野正道会長／20人）▼12月1日認証▼ponsサー／福井イースト
静岡WITH協力会（杉山貴紀会長／20人）▼12月18日認証▼ponsサー／静岡

■解散クラブ

10月＝神奈川県・川崎臨海
12月＝新潟県・五泉さくら／北海道・雨竜／兵庫県・いざなぎ／福島県・いわき中央／埼玉県・杉戸／新潟県・下田／北海道・小樽中央

■クラブ名称変更
北海道・札幌わかば→札幌わかば南
神奈川県・川崎東→川崎みらい
香川県・さぬき未来→さぬきみらい

訃報

■元国際役員

彰菅原雅雄（東京掘留）
9月30日逝去。96-97年度330-A地区ガバナー、330複合地区議長。
彰岡田清（三重県・松阪）
10月14日逝去。21-22年度334-B地区ガバナー。
彰竹内武司（北海道・札幌トラスト）
10月16日逝去。01-02年度331-A地区ガバナー。
彰阿部英明（神奈川県・相模原シティ）
11月23日逝去。05-06年度330-B地区ガバナー。
彰高橋昌一（秋田中央）
11月29日逝去。03-04年度332-F地区ガバナー、332複合地区議長。
◎ライオンとしての多大な功績をたたえ、ご冥福をお祈り申し上げます。

国際理事会会議 決議事項要約

インド・コルカタ 2025年10月9～12日

監査委員会

決議なし。

会則及び付則委員会

- Swarn Singh Khalsaライオンの元地区ガバナーとしての復帰を承認した。
- 理事会方針書第7章 Exhibit A「標準版地区会則」第6条を改訂し、地区ガバナー、第一副地区ガバナー、および第二副地区ガバナーが同一クラブの会員であってはならないとする最近の国際付則改正に整合させた。
- 2027年7月1日付で会則地域1の国際理事を1名減らし、会則地域3の国際理事を1名増やすとともに、2028年7月1日付で会則地域1の国際理事を1名減らし、会則地域6の国際理事を2名増やし、国際会長による理事会アポインティを1名減らす決議案。この決議案は、2026年国際大会で代議員に提案される。
- 元地区ガバナーが地区または複合地区大会において完全な代議員資格を付与されるためには、グッドスタンディングにあるクラブに所属していなければならないとする、クラブ代議員数算定方式を変更する決議案。この決議案は、2026年国際大会で代議員に提案され、直ちに有効となる。

大会委員会

決議なし。

地区及びクラブ・サービス委員会

- 3242-F準地区が3242-F、3242-H、および3241-Jを設けることを承認した。3242-Fおよび3241-Jの地区再編成は2026年国際大会の閉会時に、3242-Hの地区再編成は2027年国際大会後に有効となる。
- 307-B2準地区が307-B2および307-Cを設けることを承認した。本地区再編成は2026年国際大会の閉会時に有効となる。
- 308-B2準地区が308-B2および308-B5を設けることを承認した。本地区再編成は2026年国際大会の閉会時に有効となる。
- 317-C準地区が317-Cおよび317-Hを設けることを承認した。本地区再編成は2026年国際大会の閉会時に有効となる。
- 322-B1および322-B2準地区が322-

B1、322-B2、および322-B3を設けることを承認した。本地区再編成は2026年国際大会の閉会時に有効となる。

- 404-B2準地区が404-B5および404-B6を設けることを承認した。ただし、2025年12月1日までに会員要件を満たすことを条件とする。本地区再編成は2026年国際大会の閉会時に有効となる。
- 理事会方針書第5章C節「ステータスクオ」を改訂し、新たに「会員数が少ないためクラブが機能していない」という第4項およびその小項目を追加した。
- 理事会方針書第9章J節を改訂し、「地区糖尿病委員長」の後に「地区災害支援委員長」を加えた。
- 理事会方針書第9章M節を改訂し、「複合地区糖尿病委員長」の後に「複合地区災害支援委員長」を加えた。
- 理事会方針書第9章G節を改訂し、現行の段落に「1」の項番を付けた上で、新たな「2」として、地区ガバナー、第一副地区ガバナー、および／または第二副地区ガバナーの欠員が繰り返し発生している移行地区に対しては、空席補充の書類を提出する際に役員引き継ぎ計画を併せて提出するよう求める段落を加えた。

財務及び本部運営委員会

- 2025～2026年度の修正版予算と第1四半期収支予想を承認した。
- 2026年7月の大会で代議員投票にかけるため、5年間にわたる年額2ドルの国際会費増額を提案することを承認した。
- 2025年9月30日以前に結成されたすべてのネパールのクラブに対し、2026年6月30日まで支払い期限を延長することを承認した。
- 地区ガバナー経費払戻し手続きのテクノロジー改善を進めるため、理事会方針書第21章および第9章の改訂を承認した。
- 購買方針の改訂を承認した。

リーダーシップ開発委員会

- 理事会方針書第14章D.3.o.(2)を改訂し、第一副地区ガバナー/地区ガバナーエレクト・セミナー副委員長の役職を、第二副地区ガバナー・セミナー委員長の役職も含むものとした。

- 理事会方針書第14章D.3.nを改訂し、第一副地区ガバナー/地区ガバナーエレクト・セミナー委員長職の資格要件および制約を明確化するため、候補者が委員長を務める年の過去10年間に第一副地区ガバナー/地区ガバナーエレクト・セミナーのグループリーダーを務めていること、かつ／または過去に第一副地区ガバナー/地区ガバナーエレクト・セミナー委員長を務めたことがないことが奨励される（ただし必須ではない）ものとした。

長期計画委員会（2025年8月会議の報告）

決議なし。

マーケティング委員会

- 理事会方針書第19章F節「アワード」を全文削除し差し替えることを承認した。

会員増強委員会

- 2026～2028年期レオクラブ諮問パネルの構成員と補欠を承認した。
- 理事会方針書第22章「レオクラブ・プログラム」を改訂し、レオ地区が解散した際の方針を実務に整合させた。
- 理事会方針書第22章「レオクラブ・プログラム」を改訂し、2026年1月1日からレオが他のレオをスポンサーすることを認めるものとした。
- 理事会方針書第24章「グローバル・アクション・チーム」を改訂し、ライオンが同時に務めることのできる複合地区または地区レベルのGAT職を一つに制限した。

奉仕事業委員会

- ライオンズクラブ国際協会（LCI）アドボカシー・ガイドラインを改正し、毎年LCIで最も会員数の多い国からアドボカシー・デーの提案書を提出できるようにし、またLCI執行役員が選んだ国からアドボカシー・デーの提案書を提出できるようにすることを決議した。

テクノロジー委員会

決議なし。

上記要約のいずれかに関する詳細は、協会ウェブサイト www.lionsclubs.org でご覧いただくか、法務部にお問い合わせください。

◎今号の表紙・姫路城とラッピングバス

姫路城

登録年：1993年 遺産種別：文化遺産
所在地：兵庫県姫路市



迷路のような構造や敵を分散させる仕組みなど高い防御機能を備えるが、大規模な実戦経験はなく、天守を始め三国堀・西の丸・菱の門・櫓

地元クラブ

兵庫県・姫路中央ライオンズクラブ

会長：香山浩久

会員数：77人（2025年12月末現在）

結成年月日：1963年10月24日

スポンサー：姫路鶯城ライオンズクラブ

例会日（会場）：

第2、第4水曜日 18時半～

（姫路キャッスルグランヴィリオホテル）

■クラブ自慢

結成以来、「地域に根ざす奉仕」を大切に活動しながら、7人の地区ガバナーを始め地区役員を多数輩出してきた。ベテランメンバーから奉仕活動の中心を担う若手メンバーまで、老・壮・青がバランスよく在籍し、活発なコミュニケーションの下に活動している明るいクラブ。

■主な奉仕活動

市内中学校吹奏楽部合同演奏会などの青少年健全育成、清掃奉仕や植樹などの環境保全活動、献血に特に力を入れ、地域の未来のために力を合わせ、継続的な奉仕を行っている。



■世界遺産とクラブ

結成60周年事業で姫路城内の老朽化したベンチを撤去し9脚を設置。また「姫路城ゼロカーボンキャッスル」構想への支援として、電気自動車1台を寄贈した。現在、献血とライオンズの活動を広報するラッピングバスを運行中で、姫路城を背景に走る姿が見られる。

白いしつくい壁の美しさから「白鷺城」の別名で親しまれる姫路城。そのまぶしいほどの白さゆえ、戦中は空襲の標的にならないよう黒い偽装網で覆われたという。国宝5城の一つで、奈良・法隆寺と共に国内初の世界文化遺産に登録された。

群など、城全体が当時の姿をほぼ完全に残している。優美さと軍事要塞としての機能を兼ね備えた、日本を代表する名城だ。

● 大手前公園

イベントや祭りの中心地として市民に親しまれ、城を望む絶景スポットである。

● 好古園（姫路城西御屋敷跡庭園）
池泉回遊式の本格的な日本庭園

で、姫路城を借景に、風情ある四季の彩りが楽しめる。文武両道の藩校「好古堂」に因んで命名された。

● 姫路市立動物園

姫路城の敷地内にある全国的にも珍しい立地の動物園。内堀を散策しながらさまざまな動物を見学できる。



● 姫路おでん
おでんを生姜醤油で食べるのが姫路独自のスタイル。ほつとする家庭的な味わいが魅力。

● 銘菓
姫路城近くの和菓子店には、「玉椿」「塩味饅頭」などお土産にも喜ばれる伝統銘菓がそろう。

地元クラブおすすめの味



播磨灘の豊かな海に育まれた穴子は身が柔らかく脂が乗って絶品。穴子丼や白焼きが人気。

● 穴子料理

わかつ一度読みたい「私の記事」

●1981年10月号／国際会長メッセージ

「皆で平和の担い手を求めよう」 村上薰1981・82年度国際会長

ライオン誌のバックナンバーから、読者の皆さんにわかつ一度読んでいただきたい記事をピックアップ。スペースの関係上、多少の編集を加えている場合があります。



世界的な規模を持つ本協会の一員として、会員はいろいろな方法で心の和を得ることができる。とくに知人や友人にライオンズクラブ入会を勧め、それが実現した時の喜びは格別のものである。ライオニズムの拡張によって、より多くの人々が和の心を得ていく。どうか、これを機会にライオニズムを通じて多くの人々と和の心を分かち合っていただきたい。

本年度中に個々の会員は少なくとも1人の新会員をスポンサーしてほしい。自己の内にひそむライオンとしての誇りを、他の人々も得る機会を提供しよう。新会員はクラブに活動力をもたらし、会員にクラブ発展の意欲を起こさせる。新会員のエネルギーと熱意、そして利他的奉仕への意気込みは、リーダーの集まりであ

るライオンズクラブが引き続き活動していく上で、欠くことのできない要素である。

国際協会は1983年までに会員総数150万人到達の目標を立てた。本年度、個々の会員が新会員をスポンサーするごとに、協会はその目標に一歩近付くことになる。和の心を分かち合って平和の担い手を求めるよう。

新クラブ結成によるライオニズムのエクステンションも決して軽視できない。まず、地域社会を見渡し、新クラブ結成の可能性を調査していただきたい。その可能性が少しでも存在する場合には、地区ガバナー、クラブ会員、地元に住むリーダーたちと連絡を取り、その実現に努力すべきである。エクステンションをはじめるにあたっては、地区ガバナーが、地区内に新クラブを設立するための準備を行なう。地区ガバナーは、地区内に新クラブを設立するための準備を行なう。

* 村上国際会長は、81年6月、東洋人として、また非白人として初の

国際会長に就任。会長テーマ「みんなで築こう和の社会（People at Peace）」を掲げ、世界に平和の種をまひうと訴えた。

ライオン誌ウェブマガジンで1958年創刊号からの記事をご覧いただけます





楽しさと奉仕のライオンズフェスタ

櫛本健一（福岡県・北九州みらいライオンズクラブ）

行政と社会を動かした「本気」

10月12、13日、337-A地区（福岡県／松村誠地区ガバナー）主催の「ライオンズフェスタ2025」が、北九州市の勝山公園・市役所前広場で開かれました。

今回のフェスタは、地区ガバナー方針の核心である「一般社会に向かた広報活動への取り組み」の集大成として企画されました。その構想の実行を引き受け、見事に牽引したのが、山本泰輔大会実行委員長（福岡大名ライオンズクラブ）。彼がステージから放つた高らかな開催宣言は、4300人の仲間全員の「やるぞ」という決意を代弁する「本気」の狼煙でした。

その「本気」は、即座に社会を動かしました。地元・北九州市が「共

催」、福岡県と北九州市教育委員会

が「後援」として、我々の活動の公其性を証明してくださったこと。この盤石の布陣こそ、我々が長年培つてきた地域との信頼関係の証しです。開会式には武内和久北九州市長が駆け付け、心のこもつたごあいさつを賜りました。そこで、我々は「令和7年8月熊本鹿児島福岡大雨災害支援金」の寄贈を厳粛に執り行いました。

我々が「楽しい」の先に目指したもの。それは地区ガバナー方針の柱の一つでもある「将来リーダーになる人材の育成」と「青少年健全育成」です。我々は、このフェスタを「未来への投資の場」と位置付けました。会場内の広大な「職業体験ゾーン」「企業・委員会ゾーン」こそが、我々の決意の表れです。

我々の理念に深くご賛同いただいたのは、地元北九州が誇るシャボン玉石けん、ダイキンを始め、セブンイレブン・ジャパン、福岡ひびき信用金庫、大英産業といった、日本の経済と生活を支える企業でした。子どもたちが目を輝かせながら企業のユニホームに袖を通して、真剣なまなざしで仕事に触れる姿。そこまで

まさに「公共との協働」の集大成となりました。12日、北九州市消防音楽隊による莊厳なオーブニング演奏がフェスタの幕を開け、海上自衛隊佐世保音楽隊が、その卓越した技術で市民を魅了しました。13日には、航空自衛隊西部航空音楽隊によるファンファーレが響きわたり、陸上自衛隊小倉駐屯地の魂を揺さぶる響きが我々全員の心を一つにしました。

青少年健全育成という我々の使命

我々が「楽しい」の先に目指したもの。それは地区ガバナー方針の柱の一つでもある「将来リーダーになる人材の育成」と「青少年健全育成」です。我々は、このフェスタを「未来への投資の場」と位置付けました。会場内の広大な「職業体験ゾーン」「企業・委員会ゾーン」こそが、我々の決意の表れです。



フェスタ会場の空間は、ライオンズクラブだけのものではありませんでした。「働く車が集合！」の呼びかけに、日本の守りを担う皆さんがくださいました。陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊の車両が威風堂々と並び、ステージプログラムは、

「スポーツ体験ゾーン」でのソフトバンクホークス、そして地元が誇るプロサッカーチーム、ギラヴァンツ北九州との交流も、スポーツが持つ「多様な人々をつなぐ力」を、芝生の上で体現してくれました。会場の熱気と喧騒から少し離れた場所では、「こどもお悩み相談室」を静かに開きました。「友だち関係」「家庭のこと」「いじめ」といった、

*本欄は会員の随想や提言を掲載する投稿欄です。原稿の内容は必ずしも協会の立場を表すものではなく、またライオン誌日本語版委員会がその内容を支持するものではありません。

 **SHOP**
ライオンズショップ
ジャパン

★ご注文はオンラインで
lionsclubsjapan.myshopify.com

LCIFピンコレクションケース(小)
品番: J100
素材: 木製(ウォールナット色)
サイズ: 幅16.1×高さ21×奥行3cm
収納個数: 18個 價格: \$67.95



品番: J100(小) 使用例
※商品にピンは含まれていません

LCIFピンコレクションケース(大)
品番: J101
素材: 木製(ウォールナット色)
サイズ: 幅24×高さ34×奥行3cm
収納個数: 55個 價格: \$110.95



壁掛けにもなります
品番: J101(大) 使用例

マグネット開封式のカバー
は透明アクリル板付き

◎問い合わせ先:
ライオンズクラブ国際協会
オセアル調整事務局
TEL: 050-1791-5822
Eメール:
shopjapan@lionsclubs.org

子どもたちの声なき声に耳を傾け、「一人じゃないよ!」というメッセージを届け続けました。13日には、別会場の「ムーブ」でシンポジウムを開催。タレンツのスマイリーキクチ氏をお招きし、「親子で学ぶSN S説謗中傷・引きこもり・盗撮のこと」という、現代社会の最も困難な課題に、真正面から向き合いました。「楽しさ」は、これらのシリアルスな課題に社会の関心を向けるための、最も強力な「入り口」だったのです。

現場の汗と、仲間の絆

地区ガバナーのスローガン「確かにこれは、ライオンズは楽しいということ」を、う事を実現するため、我々はステージプログラムにも全力を注ぎました。

12日は消防音楽隊に始まり、地元のダンスチームのパフォーマンスでは未来を担う若者たちのエネルギーが爆発しました。更に、地元のシンガーソングライターやバンドのパフォーマンスが、会場のボルテージを高めてくれました。13日は少年少女合唱団の清らかな歌声で始まり、

キッズダンス、そして世界的マジシャンMr.ヒーローのショーが会場を驚きと笑いで包みました。筑前若松五平太鼓や下関平家踊保存会八音会の皆さんは、地域の伝統文化の力を示してくださいました。

そして両日共に、^(ラ)日野雄二(北九州文字ライオンズクラブ)による「バナナのたき売り」が会場を沸かせたことも忘れてはなりません。ライオンズメンバー自身が「楽しさ」を

重責を背負った山本大会実行委員長を擁する福岡大名ライオンズクラブの姿は、その象徴でした。「クタクタ」になるまで流した汗こそが、我々の「属人性」の証しです。そして、この苦労と共にしたからこそ、リポートはこう結ばれます。「充実した2日間を過ごし、更に会員同士のつながりが堅固になつた様に思います」。

体現した、すばらしい「属人性」の発露でした。

この複雑なイベントを2日間事故もなくやり抜いた本当の力は何だつたのか。それは、洗練されたマニュアルや指示系統ではありません。仲間一人ひとりの血の通つた「属人性」——その情熱と、とつさの機転、そして地区ガバナーが提言された「思いやりと感謝」の心です。

元に、少しでも早く届いてほしいと
話しています。

ヘアドネーションに協力する人

(会長／2020年入会／69歳)
も、賛同サロンも、今後増えること
を期待しています。

男性でも白髪交じりでもヘアドネーション

奈良衛（青森県・つがるライオンズクラブ）

つがるライオンズクラブのオハイ小山内金弥がヘアドネーションし、地元新聞に掲載されました。彼は以前長髪にしていて、その時の髪を保存していなかったのでヘアドネーションしようとしたところ、長さが足りずドネーションできませんでした。

そこで、再度チャレンジしようと2年8カ月前から髪を伸ばし続け、31センチ以上になったので、ヘアドネーション賛同サロンで髪を切り、Japan Hair Donation & Charity（JHD&C・通称ジャーダック）へ送付しました。髪を伸ばしている間、家族や親族からは「いつまで伸ばすの？」「そろそろ切れば」「早く切ってほしい」と言われたそうですが、ヘアドネーションに必要な31センチ以上の長さになるまではと伸ばし続けました。髪を

切ったのは地元で唯一のヘアドネーション賛同サロンで、JHD&Cに在籍する友人を通じて活動を知り、協力していることです。

ヘアドネーションは、黒髪で真っすぐな髪をした若い女の子しかできないと思っている人が多いのではないか？

「薬物をやろうと思っていた。今日、森さんの話を聞いて、やめることにした」
サッポロシニアライオンズクラブが、2010年に初めて開いた薬物乱用防止の出前講座。札幌市中心部の小学校に通う6年生の男子児童2人が、感想文に書いた。ショックだった。12歳の子が、汚染されようとしてこの一連の活動に賛同し、ヘーカット料金と送料を支援することになりました。

開催校の開拓に奔走した。自分の子どもが通った母校や近くの小学校に足を運ぶ。「うちの子どもたちは、薬物とは無縁ですよ」と、関心がない校長もいた。「今の子どもは、分

薬物乱用防止教室2万人を突破

森一男（北海道・サッポロシニアライオンズクラブ）

かりませんよ」と、ハッパをかけた。地道な努力が実を結ぶ。最初の年の10年は2校、11年には6校、12年には8校と増えた。校長は2年もすると異動する。追っかけて開催を呼びかけた。大きな転機になつたのは2015年。札幌市教育委員会が「薬物教室は、年1回開催するように」と、小中高校に通達を出したことだ。校長も断りにくくなつた。15年度は13校、17年度は14校と増え、24年度には23校になつた。

小学6年生の児童数は、マンモス校なら180人、特認校は12人と少ない。24年度までに延べ194校を開催し、参加した生徒は1万977人になった。25年度になつて開催

した3校で266人が参加し、10月23日、2万43人に達した。

うにお願いしている。

薬物教室の会場を出る子どもも

- ①礼状に自分の文書を取り上げられたら、単純にうれしい

らは各クラスに備え付けの大型テレビを見て学習。講師が、放送室から話した。

と声をかける。握手を求められたり、ハイタッチしたりする子もいる。時には、女の子が「可愛い」と、声をかけてくれる。感想文には、子どもらの気付きと、心の声があふれている。

- ②同じ話を聞き、同じDVDや断り方の寸劇を見ても、子どもによつて捉え方が違い、気付くになる

③家で保護者にも見せてくれたら、薬物の怖さに対する認識を共有できる

「一度でも乱用になり、治す薬はない」、「一度やると、依存症になる」、「家族、学校、地域に迷惑をかける」

- ④中学、高校、大学に進学、社会人になつて読み直す機会があれば、薬物の恐ろしさを思い起こせる

我がクラブは独自の取り組みとして、感想文に対する礼状を出していい。礼状には、感想文に記された素直な感想やユニークな意見などをA4・1枚にまとめて添える。次のような効果を期待し、学校側には6年生全員にコピーして渡してくれるよ

- 15年もやつていると薬物乱用防止教室の物語が紡がれる。教室の後で合唱を披露し、感謝を表現してくれる学校が2校ある。親しくなった校長・教頭も多い。小生は87歳、校長は50代。父親のように思ってくれる。

我がクラブには12人の認定講師がいる。各学校を割り当てて担当してもらっている。クラブの総力戦が、2万人を実現した。

出生率が低く、少子化は加速している。子どもは、地域の宝、国の宝・財産だ。ライオンズクラブの奉仕活

動の根幹は、青少年の健全育成。大切な宝物を、薬物に汚染させてはならない。

(元会長／1998年入会／87歳)



EIKOH

実績55年

ビル
マンションの
改修工事専門
防水・補修・塗装 等

ビルの延命を志向して55年。
味わい深い風貌を保ち続けて欲しい…
私たちエーコーの願いです。

エーコー総建株式会社

東京都知事許可（般6）第46720号

〒165-0023 東京都中野区江原町三丁目
34番地1号 エーコー第2ビル

TEL.03-3565-0971(代)
FAX.03-3565-0981

代表取締役社長 竹井 信彦

代表取締役会長 竹井 壽一
(東京新宿ライオンズクラブ会員)

<http://www.eikohsohken.co.jp>

新会員の広場

Close up … 新会員の横顔



油谷駿杜（18歳・2025年7月18日入会）
富山県・高岡 ライオンズクラブ

●プロフィール

角川ドワンゴ学園S高校3年生です。高校1年で工場向けAI開発を行う株式会社Brownieを起業し、高岡市を拠点に活動しています。また、同級生と「学生団体takaoka」を立ち上げ、高校生の視点で地域の活性化に取り組んでいます。今年8月には全国から高校生を招いた地域活性アイデアソン「変革祭～市長への挑戦状～」を開催しました。

●入会のきっかけ

2025年3月、クラブ例会でゲストスピーチの機会をいただいたことが最初のご縁でした。その際、「変革祭～市長への挑戦状～」の事業アイデアを紹介したところ、クラブ事業としてご協賛いただけることになりました。「変革祭」の開催に向けて多方面で支援を受ける中で、学生会員としてのお誘いをいただき、入会を決めました。

●期待と抱負

会社は先日3期目を迎えたが、依然として試行錯誤の連続です。クラブ活動に参加しながら、高岡で活躍されている先輩方から多くを学ばせていただきたいと考えています。「変革祭～市長への挑戦状～」での連携のように、学生会員ならではのユニークな視点を生かし、クラブの活動に関わっていきたいと思います。

キーナル調査隊

●調査対象

「薬物乱用防止教育認定講師」
認定を受けたメンバーが講師を



務める薬物乱用防止教室。この活動はどのように始まったの？

●調査報告

ライオンズクラブの会員が講師となって地域の青少年に薬物乱用防止を教えるこの活動は、1997年に始まった。それ以前は薬物追放を訴えるパレードや標語の掲示などの啓発活動が

全国各地のクラブが地域の小中学校や高校で薬物乱用防止教室を開き、認定講師の会員が薬物の恐ろしさと正しい知識を伝える事業は、厚生労働省・文部科学省・警察庁・こども家庭庁の各省庁の後援を受け、高い評価を受けている。

麻薬・覚せい剤乱用防止セン



ターザによる認定講師養成講座は各地区ごとに開催され、受講者は薬物が心身に与える影響などの基礎的な知識や、実践的な指導方法を学ぶ。制度が始まつて以降、この講座を受講し認定講師となつた会員は累計6万人。現在その資格を持つ会員は約1万7000人に上つていて。

このコーナーに登場する新会員を募集しています。入会から1年半未満で、クラブに新風を吹き込んでいる会員の推薦をお待ちしています。edit@thelion.jpへ情報を寄せください。

ライオンズ雑学クイズ

【第1問】アメリカ国外で初めてクラブが結成されたのは1920年。その国は？

- a. カナダ
- b. イギリス
- c. メキシコ

【第2問】国際協会は世界を第1～8の八つの会則地域に分けている。日本が属するOSEAL(オセアル)地域はどれ？

- a. 第3会則地域
- b. 第5会則地域
- c. 第7会則地域

【第3問】同じクラブに家族で所属すると、2人目以降の国際会費が半額になる家族会員制度。入会出来るのは、世帯主会員の他に何人まで？

- a. 3人
- b. 4人
- c. 5人

【第4問】leo club (LEO CLUB) の「L」はどの単語の頭文字？

- a. Liberty
- b. Leadership
- c. Legend

【第5問】多くのクラブが推進活動に取り組む献血。全血献血ができるのは何歳まで？

- a. 54歳
- b. 64歳
- c. 69歳

★あなたは何問分かりましたか？クイズの答えと解説は、ライオン誌ウェブマガジン「情報資料」にある「ライオンズ雑学クイズ解答」でご確認ください。

正解はこちら→



ライオン誌
ウェブマガジン
www.thelion-mag.com



ウェブマガジンには全国のクラブが実施した奉仕活動のリポートや、ライオンズクラブに関する国内外のニュースに加え、統計データや国際協会の情報へのリンクも掲載。クラブの奉仕活動や運営のヒントになる記事など、役立つ情報満載でお届けしています。ぜひご活用ください！

読者プレゼント

札幌で開かれた第62回オセアルフォーラムのお土産として、公式グッズの「シマエナガのポックル」を3人の読者にプレゼントします。まん丸の愛らしい姿が大人気の「雪の妖精」のぬいぐるみは、フォーラム・ロゴのペンダント付き。ぬいぐるみの詰め物には、ペットボトルを再利用した綿が使われています。ご希望の方は、QRコードからライオン誌ウェブマガジンにあるフォームにアクセスしご応募ください。締め切りは2026年2月25日。



応募は
こちら
↓





EXECUTIVE OFFICERS

President A.P. Singh, India; Immediate Past President Fabrício Oliveira, Brazil; First Vice President Mark S. Lyon, USA; Second Vice President Dr. Manoj Shah, Kenya; Third Vice President Tony Benbow, Australia.

INTERNATIONAL DIRECTORS

Second Year International Directors

Raj Kumar Agarwal, India; Guy-Bernard Brami, France; Dr. Karl Brewi, Austria; Debbie Cantrell, USA; Chris Carlone, USA; Luis Augusto David Caro Chong, Peru; Dato' Yeow Wah Chin, Malaysia; Lorena Hus, Slovenia; Ea-Up Kim, Republic of Korea; S. Magesh, India; Robert "Ski" Marcinkowski, USA; Pankaj Mehta, India; Bert Nelson, USA; Ramesh C. Prajapati, India; Princess Bridget Adetope Tychus, Nigeria; Graeme Wilson, New Zealand; David Wineman, USA; Dong Zhao, China.

First Year International Directors

Subhash Babu, India; Nadine Bushell, Trinidad; Soon-Tak Choi, Republic of Korea; Liz Crooke, USA; Debbie Dawson, Canada; Celina Guimaraes, Brazil; Nazmul Haque, Bangladesh; Kuo-Yung Hsu, China Taiwan; Dr. Mark Mansell, USA; Drazen Melcic, Croatia; Ryozo Nishina, Japan; Niels Schnecker, Romania; Gary Steele, USA; Tomoyuki Tanabu, Japan; Hroar Thorsen, Norway; Melissa Washburn, USA; David W. Wentworth, USA.

Lions International Headquarters

300 W 22ND STREET OAK BROOK IL 60523-8842 USA
TEL.(630)571-5466 FAX.(630)571-8890
Website: lionsclubs.org

一般社団法人日本ライオンズ

PR マーケティング委員会（2025-26 年度）

委員長 廣田 晃一（335 複合地区）

副委員長 水沼 孝夫（333 複合地区）

〒104-0031 東京都中央区京橋1-2-4 八重洲ノリオビル5階
TEL. (03) 6262-1263 FAX. (03) 3241-4388

Website: lionsclubs.or.jp

ライオンズ・インターナショナルの公式出版物として以下の公式版が認可されている -Australia and Papua New Guinea, Austria, Bangladesh, Belgium, Britain-Ireland, Brazil (an edition for Multiple District LA, LB and LD and an edition for Multiple District LC), Canada (Multiple District A), China Hong Kong, MD 300 Taiwan, Denmark, Finland, France, Germany, Greece and Cyprus, Headquarters (English and Spanish), Iceland, India, Indonesia, Italy, Japan, Korea, Nepal, Netherlands, New Zealand, Norway, Pakistan, Poland, Portugal, Sweden, Switzerland, Thailand and Türkiye.

ライオン誌日本語版委員会（2025-26 年度）

国際理事 仁科 良三

国際理事 田名部智之

委員長 廣田 晃一（335 複合地区）

副委員長 水沼 孝夫（333 複合地区）

編集長 渕野二三世（337 複合地区）

委員 田中 明（330 複合地区）

委員 馬場 哲也（331 複合地区）

委員 岡田 殉（332 複合地区）

委員 後藤 一男（333 複合地区）

委員 前田 磨（334 複合地区）

委員 秋山洋一郎（335 複合地区）

委員 山田 隆嗣（336 複合地区）

ライオン誌日本語版

TEL. (03) 6674-8777 FAX. (03) 6674-8781

E-mail. edit@thelion.jp

Website: thelion-mag.com



ご縁の輪

ライオン誌日本語版委員 前田磨(静岡県・三島)

ライオンズクラブはさまざまな奉仕活動に取り組んでいますが、過疎化に伴う

人口減少や高齢化が進む中、会員増強は必須と考えます。特に「ミッション1.5」は、今後の在り方を左右する大きな課題だと思います。

私は今まで25人以上の会員増強をしてまいりました。退会された人もいますが、現在在籍する20人以上の会員が10人以上の会員(孫)を招請し、それにより入会した10人以上がクラブに招き入れた会員(ひ孫)を含め、総勢40人以上のメンバーとのご縁を頂きました。以前はこの人は無理そうだという勝手な判断でお声かけしなかったこともありました。今は「とりあえず話だけでも」とお説いています。すると皆さん、思っていた以上に関心を持ち、入会してくださることもあります。

人には誰しも世のため、人のためとい

う奉仕の精神が根付いているし、頂いたご縁を大切にするものではないでしょうか。私はお声かけするのも一つのマナーだと思い、他の会員の皆さんにも積極的にお説いています。その結果、若手の会員が更に若手を説き、ご縁の輪が広がって会員増強につながっています。

人は一生涯に何人の人のご縁を頂けるのでしょうか？私はライオンズクラブへの入会によって多くのご縁を頂くことができました。入会がご縁をつなげるチャンスと捉えるならば、そのチャンスをつかみ取ってもらえるようお説いていきたいものです。

ライオン誌の印刷版とウェブマガジンには、各クラブの会員増強への取り組みや、クラブ支部・新タイプのクラブの結成などの情報が満載ですので、是非参考にしてご活用ください。多くの人とご縁の輪を広げ、ミッション1.5の達成を目指していきましょう。



仲間を増やす一助に

ライオン誌日本語版委員 秋山洋一郎(京都紫明)

私は入会して15年しか経っていない若輩者です。そのような私が、国際協会

公式版であるライオン誌日本語版委員会の委員として複数地区協議議長及び準地区ガバナーの推挙を受けて出向させていただき、大変光栄に思うと同時に、ライオンズ活動の根底にあるライオニズムをより深く理解する機会を得たことに心から感謝しています。

私は元来、他者が笑顔になったり、温もりを感じている姿を見るのが好きなので、編集に携わっているというより、掲載候補に挙がった事業を拝見しては「へ～、こんな事業もされているんだ！」と読者目線で勉強させていただいているというのが正直なところです。振り返ってみると、これまで本当の意味で、地域の人々に笑顔になってもらうための活動ができていたか、クラブメンバーが笑顔で取り組めるような活動ができていた

かと自問自答するばかりです。私にとってライオンズ活動は、クラブを始め世界につながるメンバーからいたたく多くの学びや気付きによって自己成長させてもらう、そんな場であります。

本年度、A.P.シン国際会長は、「リーダーシップこそ奉仕、奉仕こそリーダーシップ」を掲げられています。

私なりの解釈ですが、ライオンズは社会奉仕活動を通してメンバーは奉仕の精神を育み、眞のリーダーとして活躍する人材を実社会へ輩出しているように思います。そういった観点から、会員拡大は奉仕の影響力を拡大することはもとより、実社会で活躍するリーダーの拡大という面においても、「明るい豊かな社会の実現」を進めるために欠かせない課題です。

ライオン誌日本語版の発行に携わることで、多くの人々に奉仕活動のすばらしさを伝え、共に歩む仲間を増やすための一助となれるようがんばります。

地区	クラブ数	増減	会員数	入会	退会	増減	(%)
330-A	178	1	4,366	318	227	91	(2.13%)
330-B	135	-1	3,327	171	157	14	(0.42%)
330-C	64	-1	1,499	73	72	1	(0.07%)
330 計	377	-1	9,192	562	456	106	(1.17%)
331-A	67	-1	2,321	133	93	40	(1.75%)
331-B	66	0	1,842	73	47	26	(1.43%)
331-C	41	-1	1,372	57	73	-16	(-1.15%)
331 計	174	-2	5,535	263	213	50	(0.91%)
332-A	63	0	2,022	96	51	45	(2.28%)
332-B	49	0	1,684	40	61	-21	(-1.23%)
332-C	55	0	1,443	34	46	-12	(-0.82%)
332-D	63	-1	2,028	87	69	18	(0.90%)
332-E	48	0	1,561	73	37	36	(2.36%)
332-F	40	-2	1,045	25	44	-19	(-1.79%)
332 計	318	-3	9,783	355	308	47	(0.48%)
333-A	68	-2	2,739	144	119	25	(0.92%)
333-B	47	0	1,174	81	28	53	(4.73%)
333-C	97	1	2,510	120	90	30	(1.21%)
333-D	42	0	1,589	83	49	34	(2.19%)
333-E	78	1	3,449	175	110	65	(1.92%)
333 計	332	0	11,461	603	396	207	(1.84%)
334-A	104	2	5,093	292	185	107	(2.15%)
334-B	72	1	3,297	169	94	75	(2.33%)
334-C	68	1	2,749	150	68	82	(3.07%)
334-D	97	8	4,476	448	152	296	(7.08%)
334-E	47	1	2,184	191	72	119	(5.76%)
334 計	388	13	17,799	1,250	571	679	(3.97%)
335-A	59	-1	1,572	100	63	37	(2.41%)
335-B	137	0	5,699	215	243	-28	(-0.49%)
335-C	96	0	3,367	155	121	34	(1.02%)
335-D	50	0	1,398	54	37	17	(1.23%)
335 計	342	-1	12,036	524	464	60	(0.50%)
336-A	132	0	4,834	220	179	41	(0.86%)
336-B	78	0	2,397	110	90	20	(0.84%)
336-C	76	1	2,722	160	93	67	(2.52%)
336-D	90	5	2,685	240	104	136	(5.34%)
336 計	376	6	12,638	730	466	264	(2.13%)
337-A	110	0	4,241	227	155	72	(1.73%)
337-B	57	0	2,050	69	63	6	(0.29%)
337-C	70	0	2,865	122	93	29	(1.02%)
337-D	68	0	2,016	117	102	15	(0.75%)
337-E	50	-1	1,602	73	98	-25	(-1.54%)
337 計	355	-1	12,774	608	511	97	(0.77%)
総計	2,662	11	91,218	4,895	3,385	1,510	(1.68%)

* 入退会及び増減は期首との比較

日本ライオンズ クラブ分布図

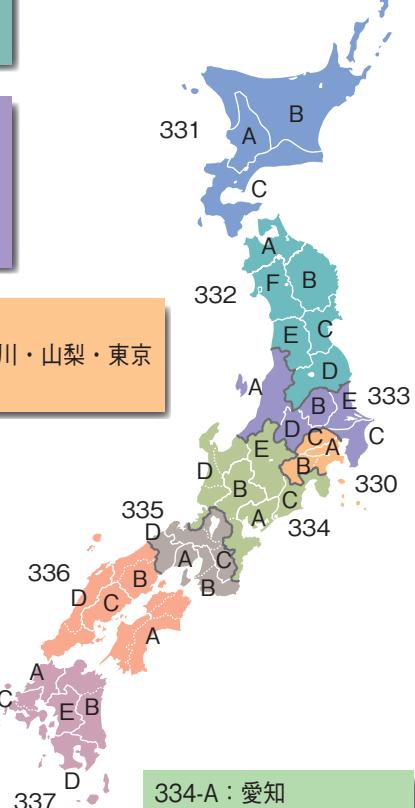
2025.12.31 国際本部集計

332-A : 青森
332-B : 岩手
332-C : 宮城
332-D : 福島
332-E : 山形
332-F : 秋田

331-A : 北海道(道央)
331-B : 北海道(道北・道東)
331-C : 北海道(道南)

333-A : 新潟
333-B : 栃木
333-C : 千葉
333-D : 群馬
333-E : 茨城

330-A : 東京
330-B : 神奈川・山梨・東京
330-C : 埼玉



334-A : 愛知
334-B : 岐阜・三重
334-C : 静岡
334-D : 富山・石川・福井
334-E : 長野

335-A : 兵庫(東)
335-B : 大阪・和歌山
335-C : 京都・滋賀・奈良
335-D : 兵庫(西)

337-A : 福岡・長崎
337-B : 大分・宮崎
337-C : 佐賀・長崎
337-D : 鹿児島・沖縄
337-E : 熊本

336-A : 愛媛・香川・高知・徳島
336-B : 岡山・鳥取
336-C : 広島
336-D : 山根・山口

世界のライオンズ 2025.12.31 国際本部集計

●国または領域 : 200 以上 ●クラブ数 : 49,671
●会員数 : 1,358,769 ●会員数増減 : 25,831

LINE 公式アカウント

友だち 募集中

ライオン誌 LINE
公式アカウント



ウェブマガジンの更新
情報などを随時配信中

LCIF LINE
公式アカウント



LCIF 日本が
LINE 公式アカウント
はじめました！